

徳島県美術家協会

美術年報

2026



目 次

はじめに.....	徳島県美術家協会会長 松永 勉	1	
令和7年事業報告.....		3	
令和7年度役員名簿.....		5	
令和7年度各部役員名簿.....		6	
第31回放美展記録		11	
第31回放美展出品・入選等状況		16	
第31回放美展公募規定		17	
第79回徳島県美術展		18	
第79回徳島県美術展出品・入選等状況		26	
第79回徳島県美術展公募規定		27	
徳島県美術展審査員一覧.....		28	
徳島県美術展開催運営要項.....		32	
第21回徳島県こども美術展		36	
第21回徳島県こども美術展出品・入選等状況		37	
令和7年各部記録			
・日 本 画 部	部会長 岡 英彦	39	
・洋 画 部	部会長 平木 美鶴	42	
・写 真 部	部会長 上野 照文	49	
・立体(彫刻)部	部会長 居上 真人	53	
・美術工芸部	部会長 松下 慶一	57	
・書 道 部	部会長 亀石 文苑	62	
・デザイン部	部会長 四十宮隆志	70	
徳島県美術家協会規約.....		75	
後援承認事務取扱規定.....		76	
後援名義使用承認申請書様式.....		77	
令和7年度会員名簿			
・日 本 画 部	79	・美術工芸部	85
・洋 画 部	80	・書 道 部	87
・写 真 部	83	・デザイン部	95
・立体(彫刻)部	85		
あとがき			

はじめに

徳島県美術家協会

会長 松 永 勉

国をあげてのプロジェクトとして、2025 年に大阪・関西万博が大阪の夢洲で開催されました。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに世界 158 カ国が参加して、4 月 13 日から 6 ヶ月間に約 2,500 万人の一般入場者で賑わいました。期間中は、さまざまなイベントの中で日本文化の発信や異文化の交流が行われました。著名文化人らが手がけたテーマ館「シグネチャーパビリオン」では、アートを通して人間社会の好対照な、人と自然の共鳴・共生を訴え、未来像を示す展示がありました。また、関西パビリオン内の徳島県ゾーンの展示では、ひときわ目を引く藍染作品による空間を構成し、徳島の文化や自然の魅力を未来に繋ぐ取り組みの展示が注目されていました。その中には、第 75 回県展の現代アート部門で最優秀賞に輝いた喜田智彦さんの沈殿藍とコンクリートで制作されたインフォメーションカウンターの展示もあり、徳島藍文化の新たな価値の発信に一役買っていました。

さて、徳島県美術家協会が関わり 5 月に開催された「第 31 回放美展」では、出品総数は前回より若干減少しましたが、各部門には数多くの力作が集まりました。7 部門の素晴らしい放美賞作品の中、美術工芸部門で放美賞を受賞した大池伸二さんの「龍 りゅう」は伝統的な銅板の打ち出し技法で制作されていて、表現力、技術力とも見事な仕上がりでした。

6 月より募集していた第 79 回県展ポスターのデザインは、運営委員会の厳正な審査を経て、徳島市職員の森志織さんの作品が選ばれました。人々が作品に出会いつながっていく様子を手話の「つなぐ」という意味をデザインで表現し、伝えたいことがよく分かる明るい色調の作品でした。

「第 79 回徳島県美術展」は 10 月に 7 部門を 3 期に分けて開催されました。審査は公開審査とし、各部門とも県外の審査員によって行われました。7 部門の特別賞には、これまでに何度も受賞を重ねられている方、前回より連続して受賞された方、長年の継続で努力が実った方など、それぞれが経験と実力を持ち合わせた実績のある作家の作品が選ばれました。一定の条件のもとで連続して選ばれることは大変難しいことで、徳島県美術展をお互いに競い合う場として更なる技量を培ってほしいと望みます。

県展と同時期開催の「第 21 回徳島県こども美術展」では、徳島県内の小中学生から絵画と書写の作品 13,500 点余りの応募があり、そのうち 1,600 点余りの入賞、入選作品が展示されました。絵画部門の県知事賞には鳴門教育大学附属中学校 2 年生の志宇知恵麻さんの作品が選ばれました。羽化した直後のクマゼミを、徹底した観察力で美しく描いたすばらしい作品でした。書写部門の県知事賞には、鳴門教育大学附属小学校 3 年生の田村理央さん

の作品「文字」が選ばれました。どっしりと力強い字形が見事でした。

その他、昨年県内で開催された美術展のうち、特に印象に残った幾つかを紹介します。

日本画部が主催した公募展「第 61 回新作日本画展」は 6 月に阿波銀プラザであり、38 点の応募で 8 点が入賞しました。委員の作品を含めて 47 点が展示されて出品者同志の良い刺激になったことと推測します。洋画部主催の「第 38 回洋画部会員展」は、7 月にあわぎんホールで開催され、会員 60 名が参加しそれぞれの日頃の成果を発表していました。同じく 7 月には写真部による「第 3 回徳島県美術家協会写真部会員展」が阿波銀プラザであり、会員 64 名が個性あふれる作品を出品していました。各部会がこのような企画をすることで会員同士の交流を深め、また、個々の技量を高めることへの糧になると感じます。

3 月 22 日から 9 日間、牟岐町の離島出羽島で町主催の「出羽島アート展 2025」が 6 年ぶりに開かれました。多くの来場者が多彩な作品の展示と共に、さまざまなイベントの楽しさを味わうことのできる企画になっていました。

2 年に一度開かれる「アワガミ国際ミニプリント展 2025」は、国内外から 1,500 点余りの応募があり、10 月 11 日から 11 月 9 日まで開催されました。吉野川市の阿波和紙伝統産業会館が企画して今年で 7 回目になります。地域の一企業がこのようなアートの国際コンペを長年開催していることは、地域全体の文化意識の向上に多大な影響を与えています。これからも世界に発信するすばらしいアート展となることを願っています。

個展では、美馬市出身の日展特別会員として活躍する日本画家藤島博文さんの作品展が、3 月にあわぎんホールで開催されました。これまでの画業を発表する大規模な展示でした。

慶事としては、本協会美術工芸部会部会長で陶芸家として活躍している松下慶一さんが「第 17 回とくしま芸術文化賞」を受賞されました。松下さんは大谷焼きの窯元で修行し、多数の公募展で入選を重ね、特に県展では若くして招待作家になり、多くの後進の指導に貢献されてきたことが高く評価されました。心よりお祝い申し上げます。

訃報については、小松島市出身の日本画家市原義之氏が 11 月 4 日に 81 歳で逝去されました。大学生時代に県展で特選を受賞しその後は日展で活躍しました。県内の後進の指導にも尽力されていました。功績を称え、心よりご冥福をお祈りいたします。

最後になりましたが、本協会の活動に対して、ご協力、ご支援を賜りました徳島県、徳島新聞社、四国放送及び徳島県美術家協会関係者の皆様に心より感謝の意を表します。

令和 8 年 3 月

令和7年事業報告(2025.1.1～2025.12.31)

- (1) 総 会 ◇令和7年5月17日(土) あわぎんホール
- (2) 第31回放美展(別掲)
- (3) 第79回徳島県美術展(別掲)
- (4) 第21回徳島県こども美術展(別掲)
- (5) 関係会議 ◇3月8日(土) 理事会 あわぎんホール
 ◇3月14日(金) 第78回(2024)県展 第3回運営委員会 徳島新聞社
 ◇4月18日(金) 第31回(2025)放美展 第2回運営委員会 四国放送
 ◇5月1日(木) 第79回(2025)県展 第1回運営委員会 徳島新聞社
 ◇7月31日(木) 第79回(2025)県展 第2回運営委員会 徳島新聞社
 ◇11月28日(金) 第32回(2026)放美展 第1回運営委員会 四国放送
- (6) 部会行事 ◇日本画部 第61回新作日本画展(6.26～6.29) 阿波銀プラザ
 ◇洋画部 第38回洋画部会員展(7.3～7.6) あわぎんホール
 ◇写真部 第3回徳島県美術家協会写真部会展(7.25～7.27)
 阿波銀プラザ
- (7) 各種後援 ◎第56回 モダンアート徳島支部展 (1.23～1.29)
 ◎四国大学書道文化学科卒業制作展 (1.31～2.2)
 ◎第47回 長玄書道会展 (2.14～2.16)
 ◎第10回 虹光会書展 (2.21～2.24)
 ◎第52回 光輪社書作展 (2.28～3.2)
 ◎第56回 書道研究 清潮書作展 (2.28～3.2)
 ◎第20回 二市絵画交流展・第8回 吉野川市・藍住町文化協会交流展 (3.21～3.26)
 ◎第5回 徳島玄心会書展 (3.28～3.30)
 ◎第45回 記念書研社展 (3.28～3.30)
 ◎河野宗之蒸 第13回 油彩画個展 (4.6～4.29)
 ◎第38回 正鋒会書展－60年回顧展－能仁華瑤 (5.2～5.4)
 ◎第47回 写真同人「炎」作品展 (5.9～5.11)
 ◎第44回 八紅展 (5.22～5.25)
 ◎徳島アート21 第22回展 (5.29～6.1)
 ◎多田清芳 書のあゆみ展 (5.29～6.2)
 ◎森裕美子(光翔)・田村富士子 姉妹書展－約束－ (5.30～6.1)

◎第 61 回 溪生社水墨画展	(5.30 ～ 6.1)
◎第 19 回 令和 7 年度徳島大学書道部・OB 書作展	(6.6 ～ 6.8)
◎第 31 回 耿の会書作展	(6.6 ～ 6.8)
◎第 70 回 成蹊書道会展	(6.7 ～ 6.8)
◎旺玄会三人展 ～画の探求、私の調和～	(6.19 ～ 6.29)
◎第 83 回 世代美術展	(7.17 ～ 7.20)
◎第 31 回 三美書研展	(7.18 ～ 7.20)
◎第 3 回 徳島県美術家協会写真部会展	(7.25 ～ 7.27)
◎瀬戸内デザイングランプリ 2025	(9.1 ～ 12.7)
◎第 90 回 書芸院展 一拍手喝采一	(9.4 ～ 9.7)
◎第 56 回 ナルトぴんぼけクラブ写真展	(9.5 ～ 9.7)
◎わとなす×蒲公英展	(9.10 ～ 9.17)
◎第 14 回 阿波美術の森作品展	(9.12 ～ 9.15)
◎吉野川市芸術祭 第 21 回 総合美術展	(9.12 ～ 9.17)
◎第 19 回 写真同人「光」写真展	(9.13 ～ 9.15)
◎第 65 回 写楽会写真展	(9.13 ～ 9.16)
◎第 70 回 書協人展	(9.21 ～ 9.23)
◎第 10 回 写真倶楽部八丁目写真展	(10.10 ～ 10.12)
◎第 50 回 あわ洋画ぐるうぷ展	(10.16 ～ 10.19)
◎第 28 回 泰書展 テーマ：緑	(10.25 ～ 10.26)
◎第 22 回 徳島版画展	(10.30 ～ 11.3)
◎AWA 現代アート展 2025 ～お山の芸術祭～ 10 周年記念	(11.2 ～ 11.9)
◎第 39 回 藍美展	(11.7 ～ 11.9)
◎第 28 回 溪生社水墨画小品展	(11.7 ～ 11.9)
◎第 21 回 吉野川市書人会作品展	(11.7 ～ 11.9)
◎第 15 回 徳島女流美術展	(11.7 ～ 11.10)
◎第 17 回 徳島絵画美学展	(11.13 ～ 11.16)
◎第 10 回 由源書心会展	(11.14 ～ 11.16)
◎第 55 回記念 直心会書展	(11.21 ～ 11.23)
◎第 55 回 芳藍書道展	(11.22 ～ 11.24)
◎西川周三・敬子 回顧展 (II)	(11.23 ～ 11.28)
◎第 45 回 臨池書展	(11.29 ～ 11.30)
◎第 10 回 書道創作グランプリ 一手本のない“実力”作品展一	(11.29 ～ 12.7)
◎第 28 回 せせらぎ書展	(12.5 ～ 12.7)
◎第 54 回 歳末チャリティー美術展	(12.11 ～ 12.14)
◎第 29 回 尚真書展 一書の遊びとところ一	(12.13 ～ 12.15)
◎遊墨アート 2025 万里一空 ～世界はひとつ～	(12.20 ～ 12.21)

令和7年度 役員名簿

会 長	松 永 勉	理 事	岩 本 志 豪
副会長	西 野 和 男	"	林 美 雪
"	敷 島 のり子	"	福 家 美 鵬
事務局長	岡 英 彦	"	四十宮 隆 志
理 事	岡 英 彦	"	田 中 一 郎
"	土 方 るみ子	"	坂 野 美恵子
"	中 西 芳 雄	"	斎 藤 繁 次
"	日 浦 猛 史	監 事	上 月 佳 代
"	平 木 美 鶴	"	橘 惠
"	嵯 峨 潤 三	顧 問	河 崎 良 行
"	鈴 木 敬 子		
"	手 塚 てる子		
"	二 條 均		
"	上 野 照 文		
"	井 藤 光 章		
"	林 敏 彦		
"	増 田 寿		
"	平 野 史 子		
"	居 上 真 人		
"	上 月 佳 代		
"	武 田 亜希子		
"	東 光 司		
"	松 下 慶 一		
"	橘 惠		
"	藤 井 哲 信		
"	森 明 治		
"	亀 石 文 苑		
"	森 光 翔		

令和7年度 各部役員名簿

日本画部

部会長	岡	英彦
委員	西	野和男
"	土	方るみ子
"	坂	容子
"	梶	浦千瑞
"	石	原千鶴
監事	中	西芳雄
"	日	浦猛史
事務局員	日	浦猛史
"	坂	容子

洋画部

部会長	平	木美鶴
委員	榊	田務
"	西	川周三
"	嵯	峨潤三
"	鈴	木敬子
"	手	塚てる子
"	遠	藤誠一
"	二	條均
"	大	西文代
"	杉	本祥子
"	林	伸也
"	加	川由紀子
"	川	人健司
"	鈴	木良治
監事	二	條均
"	鈴	木敬子
事務局員	遠	藤誠一
"	杉	本祥子

写真部

部会長	上野照文
委員	橋本圭祐
"	井藤光章
"	林敏彦
"	増田寿司
"	大和健司
"	森住博
"	川眞田慶治
"	堀口幸男
"	野藤みきよ
"	梅本貞範
"	岩崎英昭
"	平野史子
"	賀川泰広
"	船越正文
"	大津勝治
"	武地雅行
"	土橋成一
"	野口昭男
"	森田中廣
"	井上憲治
"	福田勉
"	吉田隆之
"	板東よしお
"	熊谷美智子
"	高橋一恵
"	秋山修一
"	西岡まゆみ
"	谷ひづる
監事	森住博
"	堀口幸男
事務局員	井上憲治
"	野藤みきよ

立体（彫刻）部

部会長	居上真人
委員	井下俊作
"	武田亜希子
"	東光司
"	木村大志
監事	上月佳代
"	武田亜希子
事務局員	上月佳代
"	木村大志

美術工芸部

部会長	松	下	慶	一
委 員	七	條	猪三郎	
"	森		賢	一
"	橘			恵
"	斎	藤	和	彦
"	森		明	治
"	藤	井	哲	信
"	田	村	栄一郎	
"	大	貝	貞	雄
"	丸	居	哲	雄
"	福	本	美智代	
"	長	尾	敏	子
"	上	田		優
"	内	藤	久	子
"	越		由	子
"	近	藤	佐起江	
"	吉	野	由	紀
"	近	藤	美佐子	
"	石	川	眞	一
監 事	大	貝	貞	雄
"	田	村	栄一郎	
事務局員	上	田		優
"	福	本	美智代	

書道部

部会長	亀	石	文	苑
委 員	青	木	東	原
"	赤	川	景	舟
"	朝	三	阜	如
"	阿	部	博	子
"	荒	井	彭	仙
"	井	上	虹	雨
"	岩	本	志	豪
"	上	田	輝	芳
"	上	野	益	泉
"	内	田	麻	紀
"	大	西	清	葩
"	岡	崎	啓	香
"	沖	田	唐	谷
"	折	野	幸	峰
"	梶	川	佳	奈
"	勝	浦	光	漾
"	加	村	喜美子	
"	川	上	虹	泉
"	河	野	眞	流
"	河	野	多	美
"	川	端	康	清
"	川	村	春	琴
"	岸		緑	香
"	日	下	溪	翠
"	倉	本	景	雨
"	糺		真理子	
"	幸	田	清	尚
"	佐	野	収	華
"	澤	本	悠	洸
"	清	水	桂	月

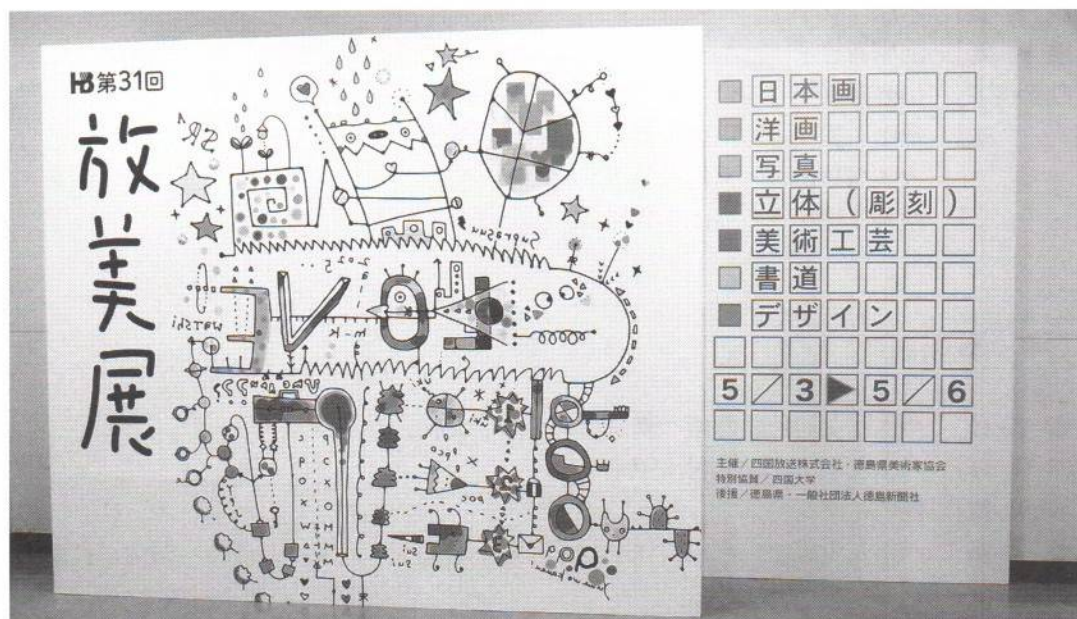
委 員	鈴 薄	木 田	恵 玲	理 泉
"	隅	田	英	二
"	背	川	景	玲
"	高	瀬	大	峯
"	田	上	洋	香
"	武	市	鳴	雲
"	武	田	玲	香
"	多	田	清	芳
"	谷	本	真由	美
"	玉	城	乾	香
"	玉	城	乾	舞
"	田	村	元	帥
"	辻		紅	雲
"	戸	出	芳	泉
"	富	久	鳴	泉
"	中	尾	勝	子
"	中	川	観	山
"	長	原	皋	月
"	中	村	春	岳
"	仁	木	志	香
"	西	谷	香	峰
"	能	仁	華	瑶
"	野	口	有	香
"	鳩	成	青	嶂
"	浜		佳	香
"	林		桂	翠
"	林		美	雪
"	坂	東	真	里
"	平	岡	幽	琴
"	弘	田	長	風
"	福	永	美	泉

委 員	福 藤	家 原	美 育	鵬 代
"	松	永	翠	月
"	丸	岡	春	暁
"	丸	田	恵	風
"	三	浦	富	美代
"	南		溪	石
"	三	宅	葉	子
"	宮	守	崇	流
"	向	井	京	子
"	村	部	幸	苑
"	森		光	翔
"	八	木	藍	玉
"	矢	部	知	子
"	山	口	華	城
"	山	口	幽	径
"	山	本	景	琴
"	吉	田	翠	彩
"	脇	坂		優
監 事	矢	部	知	子
"	谷	本	真由	美
事務局員	長	原	皋	月
"	鳩	成	青	嶂

デザイン部

部会長	四十宮 隆 志
委 員	吉 本 實
〃	斎 藤 繁 次
〃	斎 藤 志津子
〃	佐 藤 あすか
〃	山野井 宏 宗
監 事	生 田 典 子
〃	西 林 良 枝
事務局員	小 林 あ い
〃	天 羽 宏 美

第31回放美展記録



■作品搬入：4月29日(火) 9:30～12:00 日本画・洋画・書道・デザイン

写真・彫刻・美術工芸

■審査：4月29日(火) 13:00～

日本画・洋画・書道・デザイン

写真・彫刻・美術工芸

■会期：5月3日(土)～5月6日(火)

10:00～17:00 (入場は16:30まで)

■会場：あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)

■表彰式：5月5日(月) 14:00～ あわぎんホール5階



会場風景



表彰式

日本画

[審査員]	土方るみ子	中西 芳雄	日浦 猛史			
[放美賞]	木原 典子					
[優秀賞]	河原智恵子					
[四国大学賞]	山野井咲奈					
[入選]	水田 貴子 大久保楨宙 西井 桃花	高橋 敦子 宮崎 英子 盛山 陽加	谷 尚武 山瀬 優奈	中溝 敦子 久保 守近	西田 江美 長村 明奈	

洋画

[審査員]	平木 美鶴	嵯峨 潤三	大西 文代			
[無鑑査]	鈴木 敬子	北村 照子				
[放美賞]	森内 奏礼					
[優秀賞]	西川友里恵	武田 洋子	河野 増夫	大塚 万愛	栗岡 良平	
[四国大学賞]	妹尾 風薫					
[入選]	小河 京子 黒島 貞子 大久保佐智子 小笠 正明 浦島 正員 前野 亮治 森本 一弘 岩井 春美 藤本 誠子 坂東 悦子 大谷隆太郎 森本 絢音 福本 恵 天野 沙紀 橋爪 来陽 宮村 香穂 村本 紗良 三木菜々恵	今井 雅省 岸田 好正 長尾賀代子 北岡 優乙 曾我部清美 阿部 昌子 服部 和代 高橋 啓子 須藤 洋史 河原智恵子 柿口 陽菜 磯部 真優 平岡 優衣 長井 陽依 小松 彩 西川 颯音 三上 碧惟 住友 洋士	三橋 玄児 船崎久彩子 小倉満智子 宮内 一子 小川 美輝 清原 眞弓 石田 夢羽 工藤 桂子 永本あすか 横畠 寛 高石 羽那 岡 希望 今柴 友里 谷 依津希 石田 乃愛 平瀬 宗真 山添 悠 高島 加代	井添 弘美 井関久美子 高宮 達博 竹田 彩夏 林 茂子 東原 綺子 坂東 弘子 岡崎 恵 松尾 泰知 竹内 定義 吉村 奈桜 高橋 味由 川人 健司 日下明佳寧 福本 怜央 藤井 美優 川原 璃苺 石川かおり	谷 慎也 林 静代 細谷 孝子 西村 数美 東 朗 柏原 博司 柳原 三紀 西 広生 大久保由子 篠原 稔 西田 治樹 齊藤 保鷹 藤本 知花 村川 千代 佐々木芽衣 田中ももか 坂本 菜摘 藤本八重乃	

写真

[審査員]	上野 照文	増田 寿	森住 博		
[無鑑査]	野藤 敏美	谷 ひづる	板東美智代	幾田 茂仁	
[放美賞]	山上 堯				
[優秀賞]	石川 弥加	小富 利樹	松本佳図子	井内 紀文	森住 孝義
	佐々木 正	佐藤 康江	鈴江 純史	佐藤美智子	
[四国大学賞]	高岡 心実				
[入選]	岡田 政子 (2)	播磨 一成 (2)	篠原 敏晃 (2)	南 敦子 (2)	小富 利樹 (2)
	松本佳図子 (2)	豊田 正夫 (2)	藤野 和也	おどみ岐諷 (2)	野田 賢 (2)
	江口美恵子 (3)	板東 泰雄	三谷美津子 (2)	谷 宥大	庄野 哲夢
	岩井 理央	河野 俊文	井内 紀文	寺内 靖	森住 孝義
	井上 康子 (4)	佐々木 正 (2)	水口 ゆみ (3)	姫野 博司 (4)	谷 嘉明 (2)
	板東よしお (2)	吉田 隆之	山上 道子 (4)	山上 堯 (2)	佐藤 政男 (3)
	鈴江 純史	緒方 静子 (2)	高岡 心実	久保 朋也 (3)	長島 毅 (3)
	藤畠 慶祐 (2)	山下 修司	石川 弥加 (2)	戸村 莉菜	阿部 真由
	松村久美子	田上 吉輝	後藤田溜美子	佐藤美智子	桑村 一路
	緒方 琉希	邊見 博子 (3)	鍋島治世子	山田 喜吉 (2)	川野 茂
	川野 阿佐	信田 幸一	西内 健	美馬 正人 (2)	喜屋武美沙子
	森山 節子 (2)	近藤 博之	林 好一 (2)	柏原 史郎 (4)	今出 弘
	岡 三希生	竹内 一雅	青木 望愛		

立体(彫刻)

[審査員]	居上 真人	井下 俊作	武田亜希子		
[無鑑査]	横畠 寛	大貝 貞雄	吉田 陽子		
[放美賞]	勝間 紗英				
[優秀賞]	笠原あろは				
[四国大学賞]	野田 葵				
[入選]	松長 季和	森 克江	猪井 賢二	小田太一郎	信田 幸一
	渡部 小夏	橋本 彩世	田中 文音	野田 葵	

美術工芸

[審査員]	森 賢一	森 明治	藤井 哲信
[無鑑査]	前野 亮治	近藤佐起江	久保 英樹
[放美賞]	大池 伸二		

[優 秀 賞]	東條 容子	向 紫			
[四国大学賞]	田村優太郎				
[入 選]	長尾 敏子	三橋 玄児	大磯 侑愛	小磯 未来	柴田 怜奈
	中内喜久代	上村 昭子	溝杭 美香	長尾賀代子	家形笑美子
	青木 壽美	柴 純代	中筋奈津子	元井 真紀	三好 文子
	板東 啓子	川島 千鶴	清原 眞弓	上田 優	濱口 正義
	阿部 能則	石川かおり	石川 眞一	黒川 佳代	吉野 由紀
	高橋 正昭	高瀬 裕司	北村 清翠	手塚 健一	増田 満
	松本みづる	野田富美子	遠藤 勇	松永 卓司	遠藤 好子
	武田 潤子	河村 鉄平			

書 道

[審 査 員]	玉城 乾香	田村 元帥	向井 京子		
[無 鑑 査]	児玉 永祥	嵯 真理子			
[放 美 賞]	内田 麻紀				
[優 秀 賞]	戸出 芳泉	廣田梅太郎	西 朱理	佐竹 夏実	森本 明美
	長尾 香蘭				
[四国大学賞]	篠原 光理				
[入 選]	中村 絢子	中西 之桐	真鍋優妃乃	光山 実沙	伊藤 輝
	石田 理夏	藤田 乙美	前川千鶴子	江本 佳穂	久米 良径
	岡本みなみ	西沢 莉緒	松浦 由華	真鍋 心	宮田梨音愛
	山岡 真綺	吉永ひなの	手塚 浩美	芝野 葵	周藤 俊花
	谷内 花聲	京野 白燕	畠山 花鮮	香川百々花	丸津 結愛
	野村 実礼	菊谷 桃香	山上 華仙	金田 龍峰	吉積 昂輝
	栗尾加代子	飛越 早苗	堀 弘子	深山 寛子	深山 美貴
	三木 遙樂	斎藤 窓陽	猪本 月子	前田 翠琉	益田 順子
	枝澤 若那	森 さくら	高木 紗彩	清水 芳雲	阪野 恵子
	田中 玲子	斎藤 節子	西川 実希	市原 彩光	笠原 結依
	大田 麻緒	由宇 礼佳	田渕 紀香	井口 雅妃	河野 春霽
	田中 子葉	中村 孔亮	由宇 星華	佐藤 美月	遠藤 稟乃
	組屋 雄紀	中山紗らら	萩原煌士朗	山田 瑞稀	三好 仁子
	小林 美紅	友成 史子	吉岡 三枝	脇 泰山	島川 準司
	石原 実侑	黒川 孝太	小林 優海	田中 美結	平 里音
	田原 有	植野 粹玲	島田 莉沙	満村 泰子	濱口 恵
	藤田美也子	三宅 葉子	坪井 佳代	和田有希菜	丸岡 明衣
	大西 清葩	岡崎 啓香	金城 泰苑	清水 香凜	武市 奏香
	武田 玲香	坂東 裕美	藤本 瑤香	藤原 乾心	横関 煌香

佐藤由紀代	嵯峨 京	相川 博美	上田 華凛	谷本 良裕
仁木 哲哉	平山 恵子	森本 浩恵		

デザイン

[審査員]	坂野美恵子	田中 一郎	敷島のり子		
[無鑑査]	山野井宏宗	松島 早紀			
[放美賞]	重清 嘉宏				
[優秀賞]	正木 香乃	一宮 彩華	#ghostinthebody		久家 優希
[四国大学賞]	谷木 女容				
[入選]	田中 公代	双葉きみこ ⁽²⁾	西村美乃里	中川 涼音	折野 愛日
	佐野木 凜	長尾 美波	荒木 美奈	浅野 蕾咲	長尾 柑奈
	桑野 華	山口くるみ	阿部 百花	林 敏雄	辰己 乃愛
	水口 由菜	藤本 真帆	田村いぶき	阿部 凛心	藤本百合子
	眞鍋 碧羽	鳥海 果蓮 ⁽³⁾	住友 靖子	大島 みゆ	巴 彩香
	山本 真子	信田 幸一 ⁽²⁾	え り さ	河野 もも	川村 紗季
	前田 夏希	河野 桜綾	南 妃奈乃	田上 絢華	山室 蒼志
	日浅 愛琉	桑村 皆希	佐古 虎優 ⁽²⁾	檜原 陽菜 ⁽²⁾	小倉 美音
	坂本 玲奈	中村 姫菜 ⁽²⁾	平野 結菜 ⁽²⁾	福原 成美 ⁽²⁾	松本愛依梨
	豊川 凜	上川 熙躍	嵯峨山文菜	糸谷 美里	東條 幸奈
	坂本 陽	川端 友乃	大東かのん		

第 31 回放美展出品・入選等状況

部門 区分		日本画	洋 画	写 真	立 体	美術工芸	書 道	デザイン	計
出 品 点 数		21	135	222	17	59	159	97	710
出 品 者 数		20	129	76	14	47	141	84	511
入 賞 ・ 入 選	放 美 賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	優 秀 賞	1	5	9	1	2	6	4	28
	四国大学賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	入 選 数	12	90	108	9	37	103	62	421
	計	15	97	119	12	41	111	68	463
	入 選 率	71.4%	71.9%	53.6%	70.6%	69.5%	69.8%	70.1%	65.2%
選 外	落 選 数	6	38	103	5	18	48	29	247
	落 選 率	28.6%	28.1%	46.4%	29.4%	30.5%	30.2%	29.9%	34.8%
無 審 査 出 品	審 査 員	3	3	3	3	3	3	3	21
	無 鑑 査	0	2	4	3	3	2	2	16
	計	3	5	7	6	6	5	5	37
展 示 数		18	102	126	18	47	116	73	500

第 31 回放美展公募規定

部門 区分	日本画	洋 画	写 真	立 体 (彫刻)
書類受付期限	令和 7 年 4 月 10 日 (木)			
搬入日	令和 7 年 4 月 29 日 (火) 午前 9 時半から正午			
搬入場所	あわぎんホール 3 階展示室 (写真部門は 4 階展示室)			
審 査 日	令和 7 年 4 月 29 日 (火) 午後 1 時から			
審 査 員	土方るみ子 中西 芳雄 日浦 猛史	平木 美鶴 嵯峨 潤三 大西 文代	上野 照文 増田 寿 森住 博	居上 真人 井下 俊作 武田亜希子
出 品 料	1 点目 3,000 円 2 点目・3 点目各 1,000 円 高校生・高専生・大学生・専門学校生は 1 点 1,000 円 (2・3 点目は無料)			
応募資格・出品制限等	・未公開作品に限る ・高校生以上 ・県内外不問 ・作品のみ送付は不可 ・応募点数制限なし			
	・最小：額縁の幅を除く画面が 70cm × 47cm 以上 ・最大：額縁を含む縦、横の一边が 130cm 以内 ・額装 ・裏面に吊り紐 ・アクリル・ガラス等で画面を覆わない	・最小 20 号 (版画は八ツ切額、水彩は四ツ切額)～最大 50 号以内 (ただし S 型は 30 号が上限) ・アクリル・ガラス等で画面を覆わない (ただし、水彩画、版画はアクリルに限り可) ・額装 ・吊り紐	・単写真・組写真とも半切及び A3 から全倍サイズで、画面の長辺が 40cm 以上 90cm 以内 ・スクエアサイズ (正方形) は 1 辺が 30cm 以上 50cm 以内 ・組写真は 1 パネル (90cm × 180cm 以内) に全作品を固定 ・作品はパネル貼りし、額装は禁止 (ガラス、アクリル装着、金属、プラスチック、木材などによる枠取り不可)	・あわぎんホール (県郷土文化会館) のエレベーターに収容可能な大きさ ・100kg 以内 ・展示に危険を伴わないもの
入 賞	・放美賞 各部門 1 点 ・優秀賞 出品数に応じて決定 ・四国大学賞 各部門 1 点 (高校生・高専生 (全学年) の入選作品から選出)			

部門 区分	美術工芸	書 道	デザイン
書類受付期限	令和 7 年 4 月 10 日 (木)		
搬入日	令和 7 年 4 月 29 日 (火) 午前 9 時半から正午		
搬入場所	あわぎんホール 3 階展示室		
審 査 日	令和 7 年 4 月 29 日 (火) 午後 1 時から		
審 査 員	森 賢一 森 明治 藤井 哲信	玉城 乾香 田村 元帥 向井 京子	坂野美恵子 田中 一郎 敷島のり子
出 品 料	1 点目 3,000 円 2 点目・3 点目各 1,000 円 高校生・高専生・大学生・専門学校生は 1 点 1,000 円 (2・3 点目は無料)		
応募資格・出品制限等	・未公開作品に限る ・高校生以上 ・県内外不問 ・作品のみ送付は不可 ・応募点数制限なし		
	・木・竹・金工・陶磁・漆・染色・織物・人形・ガラス等 ・立体作品は縦・横・奥行がそれぞれ 100cm 以内で、125,000 立方 cm 以内 ・平面作品は縦 180cm・横 150cm 以内で、22,500 平方 cm 以内 ・展示可能な用具を必ずつけ、前後がわかるように明示すること	・0.85 平方 m 以内 (例 / 半切、半切+半切 4 分の 1、全紙 2 分の 1) ・額装 ・裏面に吊り紐 ・臨書も出品可 ・申込書に種別 (漢字・かな・近詩・前衛) を、裏面に釈文を記載のこと	・グラフィックデザインに限る ・B1 サイズ (728mm × 1,030mm) または B2 サイズ (515mm × 728mm) で厚さ 5mm から 75mm 以内、外枠 (幅 20mm 以内) を含めた重さが 5kg 以内 ・ガラス額装は不可 ・実在の商品名、会社名の使用は不可 (著作権、肖像権に抵触しないこと) ・画像生成 AI を使用した作品は不可とする ・裏面に吊り紐
入 賞	・放美賞 各部門 1 点 ・優秀賞 出品数に応じて決定 ・四国大学賞 各部門 1 点 (高校生・高専生 (全学年) の入選作品から選出)		

注 1) 入選数は出品点数に応じての規定数とする

2) 選外作品及び展示作品は各部門の決められた日時までに搬出すること
所定の期日までに搬出しなかった作品は出品者の送料負担 (梱包料金を含む) で返送する

第79回徳島県美術展



ポスターは、県展ポスターデザイン公募で最優秀賞の森志織さんの作品

- 会 期：第1期 日本画・洋画・立体(彫刻)
令和7年10月 8日(水)～13日(月)
- 第2期 写真・美術工芸・デザイン
令和7年10月15日(水)～20日(月)
- 第3期 書道
令和7年10月22日(水)～27日(月)

※1・2・3期とも9:30～17:00

- 会 場：あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）



県展会場風景

日本画

[審査員]	山田 伸						
[特別出品]	西野 和男	岡 英彦					
[招待]	土方るみ子	中西 芳雄	日浦 猛史	反田 卓	坂 容子		
	梶浦 千瑞	石原 千鶴					
[無鑑査]	久保 守近						
[特選]	富永 博子 (四国放送社長賞)						
	平野 真里						
[準特選]	宮越 千佳	鍋島治世子	木原 典子				
[奨励賞]	山野井咲奈	大久保禎宙	後藤田 実				
[入選]	大栗美和子	高瀬 道子	鈴木 恵子	水田 貴子	宮崎 英子		
	吉村 敬子	谷 尚武	高橋 敦子	山瀬 優奈	中溝 敦子		
	秋月ヒサヨ	植田 忠生	西田 江美				
★[ギャラリー賞]	植田 忠生						

洋画

[審査員]	寺久保文宣						
[特別出品]	平木 美鶴						
[招待]	露口 敏幸	長尾 弘久	西川 周三				
[無鑑査]	林 敏雄	越久 高照					
[賛助出品]	中辻奈美枝						
[特選]	土橋 正子 (県美術家協会会長賞)						
	板井 義典	浅井 清司					
[準特選]	西 広生	藤井 美優	佐坂希恵子	嵯峨 潤三	二條 均		
	西條 敏夫						
[奨励賞]	柏原 博司	加川由紀子	竹原 良亮	田村 幸子	遠藤 誠一		
[入選]	大津 憲文	細川 禮子	川上 晴美	田村 秀子	近清 哲夫		
	坂東 優	林 静代	村本 紗良	田中ももか	坂本 菜摘		
	平瀬 宗真	西川 颯音	川原 璃苺	河村 鉄平	前野 亮治		
	宮田 京子	松本 勇夫	高橋 厚代	篠原 敏晃	坂東 弘子		
	福井 摂哉	金澤 和子	岩井 春美	日永 唯花	吉川 光子		
	藏本百合子	松浦 一	植田フクミ	宮本 典子	岩井 千晴		
	四宮 堤	笹田 義宏	中村 俊夫	伊勢 浩章	富士原卓弘		

東 朗	今井 雅省	栗飯原満子	小泉たか子	鹿山 公弘
小倉満智子	船崎久彩子	須藤 洋史	田中 尚美	松本 啓子
林 敦子	小川 美輝	久保 和子	福良 哲子	手塚てる子
住友 洋士	北村 照子	富士原晴己	谷 慎也	宮内 一子
環 民子	小笠 正明	吉岡 毅	阿部 昌子	三木田眞由美
工藤 桂子	坂東 悦子	森本 一弘	佐藤 敬子	米田恵美子
黒島 貞子	林 茂子	石井恵美子	大坪潤一郎	上原 俊代
木村 尚美	武田 洋子	小笠原秋子	井添 弘美	藤井 香世
河野 博匡	清原 眞弓	馬淵 尚子	小河 京子	矢野 和代
井関久美子	三好 博子	工藤 芳	谷口 克子	山上 和秀
鈴木 敬子	川人 健司	林 伸也	長井 陽依	横畠 寛
西川友里恵	信田 幸一	大西 文代	東 紀美子	仁木 英子
黒川 彰子	長坂 芳子	村川 千代	杉本 祥子	栗岡 良平
高島 加代	大垣 沙虹	森中 美咲	川口 均	
近清 哲夫				

★ [ギャラリー賞]

写 真

[審査員] 立木 義浩

[特別出品] 上野 照文

[招 待]	木田 英之	三好 和義	森 賢一	橋本 圭祐	前浦 芳久
	林 敏彦	井藤 光章	増田 寿	柳本 正	大和 健司
	船越 正文	岩崎 英昭	久保 英樹	堀口 幸男	森住 博
	平野 史子	川眞田慶治	多川 静守		
[無鑑査]	阿部 啓三	国見 良幸	野藤みきよ		

[特 選] 今出 弘 (県知事賞)

	邊見 博子	姫野 博司	柏原 史郎		
[準特選]	井上 義信	加藤 敬二	河野 悟子	岩崎 浩子	松本佳図子
	山上 堯	福田 勉	武地 雅	谷 ひづる	
[奨励賞]	板東よしお	久保 朋也	大島 茂信	長島 毅	遠藤 博敏

[入 選]	櫛渕 紳哉	大津 勝治 ⁽²⁾	住友 登	豊田 正夫	吉田 隆之
	河野 俊文	佐藤美智子	篠原 敏晃	廣野美知子 ⁽²⁾	幾田 茂仁
	竹内 一雅	大貝 政博	井上 義信	森内 昭男	河野 悟子 ⁽²⁾
	邊見 博子	林 和彦	井上 康子	久保 朋也	西内 健

山田 喜吉 (2)	丸田 泰史	松村久美子	大島 茂信 (2)	水口 義行
山下 修司	姫野 博司 (2)	小川 勝	播磨 一成 (2)	秋山 修一 (2)
笠井 孝純	川西 明雄	脇 俊二 (2)	美馬 正人	佐藤 康江
須原 仁志 (2)	山上 道子 (2)	福田 勉	三谷美津子 (3)	加地 亮詞 (2)
田上 吉輝 (3)	後藤田溜美子	加藤 季代	原 嘉久仁 (3)	林 好一
遠藤 博敏	喜屋武美沙子 (2)	熊谷美智子 (2)	笠井 房子	庄野 里美 (2)
安藝 逸郎	秋田 召旨	福井 純子	西岡まゆみ	古岡 友子 (3)
喜多 昌弘	福原 敏雄	野藤 敏美 (3)	高橋 一恵 (3)	武地 雅
賀川 泰廣 (2)	阿部美智子	井上 憲治 (3)	川野 阿佐 (2)	谷 ひづる (2)

★ [ギャラリー賞] 播磨 一成

立体(彫刻)

[審査員]	前田 耕成			
[特別出品]	河崎 良行	松永 勉	居上 真人	
[招待]	井下 俊作	上月 佳代	武田亜希子	木村 大志
[無鑑査]	東 光司	小林 正則		
[特選]	川村 桂子 (県議会議長賞)			
[準特選]	田中 文音	勝間 紗英		
[奨励賞]	橋本 彩世	横畠 寛		
[入選]	大貝 寿子	大貝 貞雄	吉田 陽子	二宮 治夫 岡田 典子
	田村優太郎	笠原 在葉	重清 嘉宏	

★ [ギャラリー賞] 笠原 在葉

美術工芸

[審査員]	春山 文典			
[特別出品]	松下 慶一			
[招待]	多智花佐代子	森 賢一	橘 恵	斎藤 和彦 森 明治
	藤井 哲信			
[無鑑査]	田村栄一郎			
[特選]	田村 純子 (県教育長賞)			
	楠 博子			
[準特選]	長尾 敏子	丸居 哲雄	小橋美知子	近藤佐起江

[奨励賞]	向 紫	鳥井 明子	久保 英樹		
[入 選]	吉田 陽子	前野 亮治	東條 容子	板東 啓子	阿部 徳子
	田村優太郎	川村 桂子	近藤美佐子	近藤 公人	吉野 由紀
	三好 文子	高瀬 裕司	富永 裕子	谷中由佳里	福本美智代
	四十宮年代	川島 千鶴	柴 純代	松原 敦子	喜多 岩夫
	長尾賀代子	上田 優	野田富美子	増田 裕子	森本恵美子
	島田佳寿子	石口 明美	喜多 啓司	西條由美子	平瀬 進也
	内藤 久子	高橋 輝美	河野 美枝	松永 卓司	大井川良江
	山本 仁恵	堀井佐和子	石川 眞一	元井 真紀	中山 愛子
	越 由子	青木 壽美	岡本 恵子	工藤 公子	高橋 正昭
	松本みづる	山本 由実	金澤 博子	杉原 悦子	佐藤喜久子
	仁田 和子	田村 公子	藤中 教代	武田 潤子	久保 英樹
★[ギャラリー賞]	東條 容子				

書 道

[特別出品]	荒井 彭仙	亀石 文苑			
[招 待]	隅田 英二	清水 桂月	川上 虹泉	日下 溪翠	山口 華城
	武市 鳴雲	中尾 勝子	富久 鳴泉	永松 春苑	島田 小園
	坂本 霄風	浜 佳香	多田 清芳	玉城 乾香	薄田 玲泉
	能仁 華瑤	岩本 志豪	林 桂翠	山口 幽径	米澤 東籬
	戸出 芳泉	平岡 幽琴	宮守 崇流	詫間 勝陽	向井 京子
	川村 春琴	林 美雪	上田 輝芳	矢部 知子	玉城 乾舞
	高瀬 大峯	古川 秀蕙			
[無鑑査]	河野多美子	岸 緑	辻 尚子	野口 有香	谷 弘美
漢字・篆刻					
[審査員]	有岡 郊崖				
[特 選]	廣田梅太郎	柏尾美恵子	佐藤 美和	澤本 鈴美 (以上漢字)	
[準特選]	吉田 鈴子	加川 翔子	赤松 信映	安友 孝宣	
	木内理映子 (以上漢字)		横田 雅夫 (以上篆刻)		
[奨励賞]	佐渡 佳子	佐々 京子	近藤 美香	吉田 幸代	上野 益代
	吉村 敬子 (以上漢字)				
[入 選]	脇 泰山	折野 茂幸	大野シゲ子	岡本美津代	杉本 妙子
	宮本 暁美	村部 幸子	柳本 真弓	丸岡 由美	中村 美子
	土井 和也	山口 幸子	山本 安子	平田美沙子	山中 佳子

山城美三子	丸岡 真弓	吉川 正夫	梶浦 令賀	後藤田美智恵
井元 京子	大倉 恭子	三好 元子	櫻木貴美子	八木 澄江
山田みちる	山崎 真美	寺田 美穂	長松 芽吹	吉平 順子
眞田 秋江	佐藤 美月	市原 美希	稲木 裕美	板東 亜美
後藤 佳美	野村 実礼	手塚 浩美	光山 実沙	平田美香子
中尾三智子	河野 永子	伊藤 輝	藤永 真里	斎藤 節子
節 品子	河野久美子	斎藤 裕子	斎藤須美代	田中 七杏
田中 心杏	深山 寛子	深山 美貴	北村 浩子	上田美千代
森口 月美	三谷 展子	木村 礼子	松永 浩子	河野ヒロミ
谷本真由美	横田 典子	田尾 幹司	久米 良径	井野めぐみ
近藤 紀子	佐野恵美子	田上 早苗	泉川真理子	中西 克之
吉岡 逸子	前田 珠里	京野 美鈴	佐竹 夏実	畠山ゆかり
由宇 典代	谷内 直美	香川百々花	田村 元帥	恵 美恵子
多田みどり	岡部ひとみ	佐野 陽子	安丸 順子	島 智子
岩本 義浩	園尾 淑子	塩田 龍澄	漆川 和美	寺澤 歩花
吉倉 鉄雄	野村佳余子	伊達三智子	礪川 味佳	木村 昌代
小林 美紅	中田ゆかり	楠本 俊枝	鎌谷 幸代	美馬 英恵
長井あゆみ	向井ひろみ	武岡 綾香	鳩成 広美	青木 博美
沖田 章代	藤山真由里	阿部 千明	河見 忠信	後藤 紀代
大塚 洋子	安友 彰子	仁木 輝実	森本 裕子	松下 育実
森川のぞみ	周藤 俊恵	福家 佳余	三谷貴美子	益田 順子
西 朱里	市原マサ子	田中 偉嗣	田中 育子	日野出夏穂
青木 博志	稲井 知子	賀上 宝子	山下弥栄子	鈴木エリ子
田上 洋子	春藤 真紀	四宮 花奈	西川 実希	三好 恵子
弘田 敏章	大東シズヨ	野間 啓子 (以上漢字)		
内田美代子	吉村 敬子	田渕 勲	撫中 棕	青木 幸代
小林 義治 (以上篆刻)				

★[ギャラリー賞]

脇 泰山

飯 名

[審査員]

倉橋 奇艸

[特選]

糺 真理子 (徳島市長賞)

松本由希子

[準特選]

加村喜美子

廣瀬 久代

森崎佐和子

[奨励賞]

西川 愛美

内田 道幸

向井 境子

[入選]

内田美代子

吉岡 三枝

森本 明美

満村 泰子

平尾 卓美

森 真美

今津 英子

長野 勇輝

三好 育子

濱口 恵

篠賀 知代	岩佐 万葉	竹内 友里	三宅 葉子	脇坂 優
中川 年代	藤田美也子	池内 愛美	大久保雅子	内田 麻紀
坪井 佳代	田岡佐記子	板東 杏樹	馬地 理恵	河野さち子
坂本 敬子	村田登志子	斎藤 裕子	笹田 真里	島田 利枝
伊藤 秀子	井上 彰夫	佐野 久美	山本 直美	濱口須美子
小山 秀子	岡田 麻美	阿部 洋子	宮崎 桂子	阿部 亜希
山本 美幸	高橋加奈子	梅山 眞澄	須本 恵子	一ツ松真弓
仁井 和美	豊岡真由美	桎原 和義	小川美由紀	森 裕美子
安田希実子	野上 美紀	井上 まり	吉田 純	背川 章子
町田 哲子	中村 公子	金子 博明	近藤真千子	賛田美恵子
山本 恵子	杉本 裕子	折野 佳子	井上小百合	寺尾 俊道
宮西 恵子	石原 実侑	阿部 博子	村上 洋子	

★ [ギャラリー賞]

近代詩文

[審査員] 福田 鷲峰

[特選] 長尾由美子

[準特選] 丸田 三恵

[奨励賞] 大西千鶴子

[入選] 原 礼子

正見 千恵

山本 勇

和田富美子

今治 宏美

岡崎 啓子

川又 敏香

幸田 清尚

高橋美知江

仁木シモエ

幸田 清尚

長原 七与

児玉 幸子

日野 美佐

松村 雅子

山本 陽子

朝三 和子

居和城幸代

小野 幸久

木田 史子

小部 直子

武市 絢子

野田 満代

佐藤 恵子

武田 淳子

福山 啓子

三浦久美子

横関久美子

荒井 弥和

遠藤玻都恵

賀上 宏実

木内 典代

坂尾 俊一

玉城 安和

藤村 良枝

藤本 優子

森岡嗣雅子

吉田さい子

生野 久美

大井 多栄

桎山 正代

金城 泰子

清水 可琳

玉城 豪

藤原 一子

森本 陽子

和田 悦代

石川 英郎

大西 英子

川端喜美子

栗山 弘子

清水美津子

富永美知子

★ [ギャラリー賞]

前 衛

[審査員] 福田 鷲峰

[特選] 平山 恵子

[準特選] 大坂 昌代

[奨励賞] 石田 留美

[入選] 大胡恵里香

麻植塚由佳

梶川 佳奈

大胡 真美

藤本 智子

前川わかな

長崎 香

仁尾 みや

相川 博美

水野 知子

森本 浩恵

上田 優	岡本みつる	仁木 哲哉	谷本 良裕	梶川 葉月
永井 厚子	中川 博雅	島尾 明良	大久保 怜	田島 初代
中川 富量	佐藤由紀代	義富 博正	中川 晶裕	木徳 英幸
嵯峨 京				

★[ギャラリー賞] 大久保 怜

デザイン

[審査員]	色部 義昭				
[特別出品]	敷島のり子	四十宮隆志			
[招待]	斎藤 繁次	坂野美恵子	斎藤 剛	沢口 功	斎藤志津子
[無鑑査]	田中 一郎				
[特選]	田中 公代 (徳島新聞社長賞)				
	重清 嘉宏				
[準特選]	山野井宏宗	佐古 虎優	樫原 陽菜		
[奨励賞]	西崎 春花	斎藤 信子	信田 幸一		
[入選]	玉田 堇	高岡 心実	住友 靖子	松島 早紀	糸谷 美里
	塩崎 智絵	林 敏雄	辻 美月	坂本 陽	岩佐 俊彦
	日浅 愛琉 ⁽²⁾	南 妃奈乃	坂本 玲奈	福原 成美 ⁽²⁾	樫原 陽菜
	桑村 皆希 ⁽²⁾	三島 心夏	山室 蒼志	中村 姫菜	豊岡 志温
	小倉 美音 ⁽²⁾	平野 結菜	田中 公代	正木 香乃	岡田 典子
	信田 幸一 ⁽²⁾	佐藤あすか ⁽²⁾	大東かのん ⁽³⁾		

★[ギャラリー賞] 佐藤あすか

※一部異字体は略字になっています。

第 79 回徳島県美術展出品・入選等状況

部門 区分		日本画	洋 画	写 真	立 体 (彫 刻)	美術工芸	書 道	デザイン	計
出 品 点 数		29	194	430	20	100	540	61	1374
出 品 者 数		29	166	121	19	76	340	36	787
入 賞 ・ 入 選	特 別 賞	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(7)
	特 選	2	3	4	1	2	8	2	22
	準 特 選	3	6	9	2	4	14	3	41
	奨 励 賞	3	5	8	2	3	13	3	37
	入 選	13	104	97	8	61	287	36	606
	計	21	118	118	13	70	322	44	706
	率	72.4%	60.8%	27.4%	65.0%	70.0%	59.6%	72.1%	51.4%
選 外	落 選	8	76	312	7	30	218	17	668
	率	27.6%	39.2%	72.6%	35.0%	30.0%	40.4%	27.9%	48.6%
無 審 査 出 品	特別出品	2	1	1	3	1	2	2	12
	招 待	7	3	18	4	6	32	5	75
	無 鑑 査	1	2	3	2	1	5	0	14
	賛 助	0	1	0	0	0	0	1	2
	遺 作	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	10	7	22	9	8	39	8	103
展示数		31	125	140	22	78	361	52	809

※ 各部門の特選数は特別賞を含む

第 79 回徳島県美術展公募規定

部門 区分	日本画	洋 画	写 真	立 体 (彫刻)
搬入日	9月28日(日)	9月27日(土)	10月5日(日)	9月28日(日)
搬入場所	あわぎんホール(県郷土文化会館)3階展示室			
審査日	9月28日(日)	9月28日(日)	10月5日(日)	9月28日(日)
審査員	山田 伸	寺久保文宣	立木 義浩	前田 耕成
出品料	美術家協会員1点目4,000円 その他の方5,000円 高校生2,500円 2点目からはすべて1,500円			
出品制限・大きさ・仕上げ	・未公開作品に限る ・写真部門は1人5点まで、その他の部門は点数に制限なし ・高校生以上とし、小・中学校在学者は出品できない 最小が額縁の幅を除いた画面の縦横の長さが70.0センチメートル×47.0センチメートル以上で、最大が額縁の幅を含めた縦横の一边の長さが190.0センチメートル以内 堅牢なるパネル等を使用の上、額装とする パネル等の裏面には吊り紐をつけること パネルや画面が額より出ないこと アクリル・ガラス等で画面上を覆わないこと 注) 徳島県美術展日本画出品規定における額装の額とは、作品正面から見えて一辺の額幅が1.0センチメートル以上の木材又は金属で作られた外枠をいう 洋画 20号(72.7cm×50cm)～60号(130.3cm×97cm)までとする S型は30号(91cm×91cm)までを上限とし、版画は八つ切額(30.3cm×24.2cm)以上とする アクリル、ガラス等で画面上を覆わないこと(ただし、水彩画、版画はアクリルに限って認める) 額・吊り紐は必ず付け、保管・展示等に支障がない作品とすること 単写真、組写真とも写真長辺が40cm以上90cm以内 スクエアサイズ(正方形)は一辺が30cm以上60cm以内 組写真は90cm×180cm以内に作品を取めること 作品の固定(不安定な作品の場合受け付けが出来ない事もあります) 作品は必ずパネル貼り、額装及びガラス、アクリル装着、金属、プラスチック、木材などによる枠取りは不可 デジタル写真のAIツールの使用作品は不可 濃度、コントラスト、色調補正、スポットティング、多重露出、比較明合成は可 組写真は作品の固定をして、吊り紐を付けること 高さ2×幅1.82×奥行1.5m以内、重量200kg以内 (上記サイズを超える作品は屋外展示とする) 材料等は自由、展示可能な作品に限ります			

部門 区分	美術工芸	書 道	デザイン
搬入日	9月28日(日)	10月3日(金)	10月5日(日)
搬入場所	あわぎんホール(県郷土文化会館)3階展示室		
審査日	9月28日(日)	10月4日(土)	10月5日(日)
審査員	春山 文典	有岡 郷崖・倉橋 奇紳・福田 鷲峰	色部 義昭
出品料	美術家協会員1点目4,000円 その他の方5,000円 高校生2,500円 2点目からはすべて1,500円		
出品制限・大きさ・仕上げ	・未公開作品に限る ・写真部門は1人5点まで、その他の部門は点数に制限なし ・高校生以上とし、小・中学校在学者は出品できない ・立体作品は、50cm立方換算以内(たて×よこ×おくゆきが125,000立方cm以内)とする 但し、たて100cm・よこ100cm・おくゆき100cm以内とする ・平面作品は、150cm平方換算以内(たて×よこが22,500平方cm以内)とする 但し、たて180cm・よこ150cm以内とする 木、竹、金工、陶磁、漆、染色、織物、人形、ガラス等とし、展示できる用具を必ずつけることとする ・作品は半切又は全紙1/2以上、仕上がり面積1.47㎡(16平方尺)以内とし、縦横自由とする (例) 2×8尺、2.6×6尺、3×5.3尺ほか ・表具は枠装(アクリルなし)とし、掛軸は不可 但し巻子・帖(縦40cm 長さ300cm以内)は可 半切・全紙1/2・連落までは額装(アクリル入り)でもよい 篆刻は印影とし、縦39cm横30cm以内の額装とする ・無鑑査・招待等の無審査作品は半切・全紙1/2以内、横90cm以内とする 次の部門に属し、自筆、自刻の作品とする ①漢字(臨書不可)・篆刻(模刻不可) ②仮名(臨書不可) ③近代詩文書 ④前衛(文字を表現したもの) それぞれ釈文をつけることとする B1サイズ(728×1,030mm)またはB2サイズ(515mm×728mm)で厚さ5～75mm、外枠(幅20mm以内)を含めた重さが5kg以内とする イラストレーション・グラフィックデザインとし、原画の材質は問わないが、ガラス額装は不可 実在の商品名、会社名等は不可とし、著作権・肖像権に触れないこと 画像生成AIを使用した作品は不可とする 吊り紐をつけることとする		

徳島県美術展審査員一覧

部門 回数	日 本 画	洋 画	写 真	立 体（彫 刻） （46 回まで彫刻部）
1	委 員	野間 仁根・家永麒三郎	委 員	
2	大栗 旌仸	野間 仁根	上田 備山	太田 三郎・坂東 文夫
3	委 員	伊原宇三郎	同 上	太田三郎・坂東文夫・鹿内芳洲
4	委 員	須田国太郎	同 上	同 上
5	上村 松篁	田村孝之介	小野 由行	太田 三郎・坂東 文夫
6	西山 英雄	伊藤 継郎	川崎亀太郎	同 上
7	山口 華楊	田川 勤次	棚橋 紫水	新田藤太郎
8	池田 遙村	須田 剋太	同 上	太田 三郎・坂東 文夫
9	水田 竹圃	小出 卓二	同 上	同 上
10	管 橋彦	鈴木信太郎・野間 仁根	同 上	同 上
11	奥村 厚一	井上長三郎	岩宮 武二	同 上
12	浜田 観	福沢 一郎	棚橋 紫水	同 上
13	小松 均	藤井令太郎	同 上	辻 晋堂・坂東 文夫
14	秋野 不矩	針生 一郎	岩宮 武二	針生 一郎
15	奥村 厚一	向井 潤吉	棚橋 紫水	管沼 五郎
16	同 上	吉原 治良	岩宮 武二	柳原 義達
17	松尾 冬青	中谷 泰	同 上	向井 良吉
18	矢野 鉄山	池島勘治郎	同 上	安田周三郎
19	中村 貞以	森 芳雄	堀内初太郎	堀内 正和
20	曲子 光雄	桂 ユキ子	岩宮 武二	植木 茂
21	沢野 文臣	伊谷 賢蔵	同 上	佐藤 忠良
22	堂本阿岐羅	村井 正誠	同 上	辻 晋堂
23	松岡 政信	山下大五郎	同 上	井上 武吉
24	山崎 忠明	大沢 昌助	棚橋 紫水	菊池 一雄
25	奥村 厚一	斉藤 真成	同 上	原 武典
26	梶 喜一	島村三七雄	同 上	掛井 五郎
27	上原 卓	高田 誠	伊藤 知己	松村外次郎
28	黒光 茂樹	中間 冊夫	岩宮 武二	小島 広志
29	松岡 政信	島田 章三	同 上	保田 春彦
30	黒光 茂樹	田中 岑	岩宮 武二	篠崎 明雄
31	河合 健二	田中 忠雄	同 上	江口 週
32	長谷川青澄	山口 長男	岩宮 武二・伊藤 知己	一色 邦彦
33	松岡 政信	吉井 忠	岩宮 武二・秋山庄太郎	柳原 義達
34	山岸 純	小西 保文	岩宮 武二	清水九兵衛
35	樋笠 数慶	荻 太郎	同 上	桜井 祐一
36	坂口麻沙子	吉井 淳二	岩宮 武二	土谷 武
37	下田 義寛	野見山暁治	同 上	山本 正道
38	同 上	須田 寿	高田 誠三	清水九兵衛
39	同 上	斉藤 真一	同 上	城田孝一郎
40	下保 昭	津高 和一	岩宮 武二・高田 誠三	清水 良治

美術工芸	書道	デザイン (37回まで商業美術)
鬼塚 信之	委 員	
同 上	田中 白村	
同 上	炭山 南木	
同 上	炭山 南木・織田 子青	
同 上	手島 右卿	
鬼塚 信之・新田藤太郎	同 上	
鬼塚 信之	小坂 奇石	
明石 朴景	辻本 史邑	
会田 裕宣	織田 子青(漢)・出口 草露(仮)	
鴨 政雄	松 井 恕 流	
近藤 悠三	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	
平松 宏春	同 上	
同 上	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石・田中双鶴・田中栢翠	
大西 忠夫	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	
明石 朴景	同 上	
平松 宏明	同 上	
大西 忠夫	同 上	
鴨 政雄	同 上	
平松 宏春	同 上	
内田 邦夫	同 上	
山脇 洋二	同 上	
槻尾 宗一	同 上	
山脇 洋二	荒井 天鶴・後藤 泰秀・田中 栢翠・富永 眉峰	
藤本 能道	同 上	
三井安蘇夫	同 上	金野 弘
六角 颯雄	同 上	大智 浩
鈴木 貫爾	同 上	早川 良雄
田村 耕一	同 上	原 弘
山脇 洋二	荒井天鶴・後藤泰秀・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	田中 一光
浅野 陽	同 上	奥野 秀雄
前田 泰次	同 上	灘本 唯人
山脇 洋二	同 上	大高 猛
中村 光哉	荒井天鶴・久保幽香・讃岐泰泉・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰・新居藍州	福田 繁雄
山脇 洋二	同 上	永井 一正
田村 耕一	荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰・西岡楚峰	山城 隆一
同 上	同 上	栗津 潔
山下 恒雄	荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	田中 一光
同 上	同 上	長友 啓典
浅野 陽	荒井天鶴・久保幽香・讃岐泰泉・春藤大耿・高原清泉・田中双鶴・田中栢翠・長江清幽・新居藍州・西岡楚峰	亀倉 雄策

回次 部門	日 本 画	洋 画	写 真	立 体 (彫 刻) (46 回まで彫刻)
41	橋田 二郎	小松崎邦雄	奈良原一高	淀井 敏夫
42	松本 哲男	国領 経郎	岩宮 武二	木津 一夫
43	山岸 純	利根山光人	三木 淳	橋本 省
44	平川 敏夫	赤穴 宏	高田 誠三	山崎 猛
45	福井 爽人	桜井 寛	三木 淳	土谷 武
46	岩沢 重夫	大森 朔衛	同 上	峯田 敏郎
47	穂田 一穂	谷本 重義	立木 義浩	小島 弘
48	田淵 俊夫	大沼 映夫	杵島 隆	建畠 覚造
49	中路 融人	馬越 陽子	同 上	綿引 道郎
50	下田 義寛	三栖 右嗣	奈良原一高	古島 実
51	工藤 甲人	中根 寛	斉藤 康一	恩田 静子
52	那波多日功一	松樹 路人	細江 英公	石井 厚生
53	那須 勝哉	藤田 吉香	高田 誠三	香浦 有爾
54	内田あぐり	奥谷 博	同 上	小林陸一郎
55	松尾 敏男	佐々木 豊	大石 芳野	日原 公大
56	山崎 隆夫	大津 英敏	同 上	石黒 鏞二
57	岩本 和夫	山本 貞	細江 英公	原 武典
58	大矢 紀	福島 瑞穂	江成 常夫	菅原 二郎
59	竹内 浩一	中山 忠彦	大石 芳野	米林 雄一
60	小嶋 悠司	絹谷 幸二	江成 常夫	北郷 悟
61	宮廻 正明	山本 文彦	同 上	鈴木 久雄
62	能島 和明	島田 鮎子	英 伸三	中垣 克久
63	雲丹亀利彦	桜井 寛	田沼 武能	林 武史
64	西田 俊英	塗師祥一郎	同 上	津田 裕子
65	岡村 倫行	金山 佳子	三好 和義	建畠 朔弥
66	宮 いつき	大津 英敏	江成 常夫	深井 隆
67	小山 硬	笠井 誠一	大石 芳野	湯村 光
68	土屋 禮一	佐藤 泰生	同 上	保田井智之
69	上村 淳之	池田 清明	織作 峰子	村井 進吾
70	中島 千波	堀 研	江成 常夫	三沢 厚彦
71	中野 嘉之	久野 和洋	三好 和義	木戸 修
72	村岡貴美男	森本 勇	大西みつぐ	國安 孝昌
73	西久松吉雄	室越 健美	大石 芳野	井田 勝己
74	宮北 千織	湯山 俊久	立木 義浩	黒川 弘毅
75	國司 華子	平岡 靖弘	同 上	常松 大純
76	小西 通博	川村 悦子	ハービー・山口	西野 康造
77	北田 克己	山中 宣明	同 上	小井土 満
78	奥村 美佳	中山 智介	立木 義浩	望月 菊麿
79	山田 伸	寺久保文宣	立木 義浩	前田 耕成

美術工芸	書 道	デザイン (37 回まで商業美術)
中村 光哉	明石 春浦・坪井 正庵	伊藤 憲治
浅野 陽	桜井 琴風・黒野 清宇	サイトウ・マコト
山下 恒雄	大岡 皓崖・山田 伍雲・西野 象山	佐藤 晃一
三浦小平二	花田 峰堂・小山 素洞・東地 滄厓	河北 秀也
松永 勲	浅見 綿龍・森本 妙子・加藤 大碩	松永 真
山下 恒雄	近藤 摂南・東山 一郎・中野 北溟	浅葉 克己
島田 文雄	谷村 憲齋・植村 和堂・太田 義久	勝井 三雄
大西 長利	安原 皐雲・池田 桂鳳・金子 卓義	五十嵐威暢
山下 恒雄	鈴木 桐華・西本 支星・金子 聴松	青葉 益輝
島田 文雄	尾崎 邑鵬・井茂 圭洞・大井 錦亭	松永 真
中井 貞次	栗原 蘆水・榎倉 香邨・種谷 扇舟	安西 水丸
栗木 達介	甫田 鶏川・小山やす子・石飛 博光	U. G. サトー
宮田 亮平	杭迫 柏樹・藤木 正次・吉田 成堂	早川 良雄
松永 勲	津金 孝邦・池田 桂鳳・松永 暘石	戸田 正寿
竹内 順一	田中 節山・村上 俄山・黒田 玄夏	杉浦 康平
栗木 達介	宮崎 葵充・赤江 華城・金子 卓義	秋山 孝
中井 貞次	星 弘道・宮重 小蘭・西野 象山	遠藤 享
島田 文雄	吉川 蕉仙・清水 透石・作田 英嗣	中村 誠
竹内 順一	岩井 韻亭・光宗 道子・大井 錦亭	小島 良平
宮田 亮平	伊藤 天游・井茂 圭洞・田岡 正堂	永井 一正
島田 文雄	稲垣 菰圃・横山 煌平・船本 芳雲	新島 実
増村紀一郎	樽本 樹邨・東山 一郎・辻元 大雲	三木 健
石川 充宏	真神 巍堂・前島 泉洲・長谷川牧風	松井 桂三
竹内 順一	鈴木 春朝・山本 高邨・砂本 杏花	河北 秀也
山下 了是	大河内仙嶽・師田 久子・飯高 和子	勝井 三雄
大樋 年朗	土井 汲泉・舟尾 圭碩・百瀬 大蕪	佐藤 晃一
宮田 亮平	西村 自耕・岩永 栖邨・西野 象山	新村 則人
豊福 誠	今村 桂山・横山 煌平・森本 龍石	福島 治
若山 裕昭	渡部 清・田頭 一舟・鈴木まつ子	秋山 孝
山下 義人	鬼頭 墨峻・吉川美恵子・小竹 石雲	伊藤 豊嗣
中井 貞次	西嶋 慎一・山根 瓦清・渡部 會山	松下 計
若山 裕昭	新井 光風・村上 俄山・室井 玄聳	杉崎真之助
島田 文雄	伊藤 一翔・岡田 直樹・井之上南岳	川上 佳代
大樋 年雄	吉澤 鐵之・高木 厚人・永守 蒼穹	居山 浩二
山下 義人	真神 巍堂・舟尾 圭碩・鈴木 不倒	対馬 肇
宮田 亮平	高木 聖雨・近藤 浩平・奈良 尚石	新村 則人
山岸 大成	星 弘道・田頭 央洩・加藤 裕	福島 治
福島 善三	山本 悠雲・深瀬 裕之・加藤 有鄰	永井 一史
春山 文典	有岡 郊崖・倉橋 奇艸・福田 鷺峰	色部 義昭

徳島県美術展開催運営要項

第1条（名称・開催目的）

本展は徳島県美術展「以下（県展）という」と称し、広く県民から個性と創造性豊かな美術作品を公募し、審査員による公開審査により優秀な作品を選び、展示表彰することにより県内美術愛好家の制作意欲の活性化をはかり、一方県民に郷土の優れた美術鑑賞の機会を提供することにより本県の芸術文化の発展振興に寄与することを目的とする。

第2条（主催団体）

県展は徳島県美術家協会と徳島新聞社の共催により開催する。

第3条（開催運営の組織）

県展を開催運営するため、基本事項を審査決定する「県展運営委員会」と、主として準備計画を進める「県展事務局」で構成する。運営委員、事務局員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

【県展運営委員会】

運営委員会のメンバーは、県美術家協会の会長、副会長2名及び各部会から2名、徳島県から1名、徳島新聞社から2名の合計20名でこれを構成する。運営委員の中から運営委員長1名、運営副委員長2名を選任する。運営委員長は運営委員会を統括し次の業務を行う。

1. 開催運営の基本事項について審議決定すること。
2. 審査員の推薦決定に関すること。
3. 審査方法、表彰に関すること。
4. 収支予算、決算の承認に関すること。
5. その他県展開催に必要なこと。

【県展事務局】

事務局を徳島市中徳島町2丁目5番地の徳島新聞社企画事業部内に置く。

事務局のメンバーは、県美術家協会事務局1名、徳島新聞社3名の計4名で構成する。事務局の中から事務局長1名を選任し、次の業務を行う。

1. 出品規定、応募要項、入場券、ポスター、チラシ、図録等の印刷、受付、配布、販売等に関すること。
2. 会場、会期、審査、搬入、搬出、運営全般の下準備に関すること。
3. 審査員候補の下交渉、配宿、航空券の手配、審査日時、場所、接遇等に関すること。
4. 収支予算案の作成に関すること。
5. 開会式、表彰式の準備に関すること。
6. 広報PRに関すること。
7. その他県展開催の下準備に関すること。

第4条（出品部門）

県展の出品部門は、日本画、洋画、写真、立体（彫刻）、美術工芸、書道、デザインの7部門とする。

第5条（展示作品）

県展において展示する作品は、前条に掲げる7部門の中から次の作品とする。

1. 一般公募作品の中から主催者が委嘱する審査員の審査を経て入選した作品及び招待、無鑑査、特別出品の作品を展示する。その他の作品については運営委員会の議を経て展示する。

2. 招待、無鑑査、特別出品については次の規定による。

◇次のものを招待とする。

- (1) 無鑑査出品を3回以上得たもの。

◇次のものを無鑑査とする。

- (1) 特選を連続3回得たもの。
- (2) 年間を問わず特選を4回得たもの。
- (3) 年間を問わず特選及び準特選を6回得たもの。（特選1回準特選5回、特選2回準特選4回、特選3回準特選3回、準特選6回の場合とする）
- (4) 無鑑査出品者にして、特選または準特選を得たもの。

（注）① 17回展までの奨励賞は準特選と同値とする。

- ② 75回展以降の奨励賞については2回の取得をもって準特選1回として扱う。
なお無鑑査を得る場合の上記(3)及び(4)の回数計算において余分な奨励賞が算出された場合は切り捨て（無効）とし、無鑑査を超えての算入はしない。

◇次のものを特別出品とする。

- (1) 県美術家協会の会長、副会長、顧問、審査員及び各部の会長。
- (2) 各部の会長を永年勤めて実績があり運営委員会の議を得たもの。

（注）招待及び無鑑査出品者が出品しない場合は、運営委員会で認められた事由がない限りその資格を失うものとする。

第6条（審査員）

審査員は県外審査員とする。審査員の選任は県美術家協会から一定数の人数を推薦し、この中から事務局で選任作業を行い、運営委員会の議を経て決定する。天災や審査員の特別な事情で審査が行えない場合は各分会の運営委員が運営委員長と協議の上、新たな審査員を決定する。

第7条（審査）

審査は公開により行う。

第8条（入選、入賞数）

1. 入選、入賞数は作品の出品数の増減により多少変動する場合があるが、原則として次の範囲内に止める。

区 分	特 選	特別賞（特選の中から1点）	準特選	奨励賞	入 選
日 本 画	2	四 国 放 送 社 長 賞	3	3以内	規定数
洋 画	3	徳 島 県 美 術 家 協 会 長 賞	6	5 "	"
写 真	4	徳 島 県 知 事 賞	9	8 "	"
立体（彫刻）	1	徳 島 県 議 会 議 長 賞	2	2 "	"
美 術 工 芸	2	徳 島 県 教 育 委 員 会 教 育 長 賞	4	3 "	"
書 道	8	徳 島 市 長 賞	14	13 "	"
デ ザ イン	2	徳 島 新 聞 社 長 賞	3	3 "	"

※特別賞は各部門の中から最優秀作品1点に対し贈られるものです。

賞はいずれも同格で毎年部門により一つずつ変更し賞を贈ります。

2. 入賞は1部門1人1賞とする。

第9条（表 彰）

県展の入選、入賞者を次の通り表彰する。

1. 特 選……賞状、記念品
2. 準 特 選……賞状、記念品
3. 奨 励 賞……賞状
4. 入 選……賞状
5. ギャラリー賞……賞状

なお、特選に入賞した作品の中から特に優れた作品について次の特別賞を贈る。

1. 徳島県知事賞 1名
2. 徳島県議会議長賞 1名
3. 徳島県教育委員会教育長賞 1名
4. 徳島市長賞 1名
5. 徳島新聞社長賞 1名
6. 四国放送社長賞 1名
7. 徳島県美術家協会会長賞 1名

◎特別賞の選考方法については別に定めるものとする。

第10条（収支予算）

県展の開催、運営に要する経費は次のものをあてる。

1. 出品料
2. 入場料

3. 図録売り上げ代金及び広告料
4. 各種補助金
5. その他

県展の支出経費は事務局長の承認を経て行い、必ず証票をとり、毎年12月に決算を行い、運営委員会に報告し承認を得るものとする。

第11条（出品料・協賛費）

県展の出品料及び協賛費は次の通りとする。

1. 県美術家協会会員の出品料は、1点目4,000円、2点目から1点につき1,500円とする。
2. 一般の方の出品料は、1点目5,000円、2点目から1点につき1,500円とする。
3. 高校生の出品料は、1点目2,500円、2点目から1点につき1,500円とする。
4. 招待、無鑑査、特別出品者及びその他審査を受けない者の協賛費は1点4,000円とする。

第12条（入場料）

県展の入場料は次の通りとする。

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| 1. 一般・大学生 | 前売り 800 円 | 当日 1,000 円 |
| 2. 高校生 | | 無料 |

第13条（附 則）

本要項の規定は昭和61年9月から実施する。

本要項の改訂、修正は運営委員の3分の2以上の議決を経てこれを行うものとする。

平成4年2月22日	一部改正
平成4年5月16日	一部改正
平成8年5月25日	一部改正
平成11年5月14日	一部改正
平成13年5月30日	一部改正
平成14年9月25日	一部改正
平成17年6月14日	一部改正
平成18年4月11日	一部改正
平成23年2月20日	一部改正
平成24年2月24日	一部改正
平成25年8月20日	一部改正
平成26年8月6日	一部改正
平成27年2月18日	一部改正
令和3年3月1日	一部改正
令和5年3月2日	一部改正

第21回徳島県こども美術展



〈徳島県知事賞〉
鳴門教育大学付属中学校
2年 志宇知恵麻



〈徳島県知事賞〉
鳴門教育大学付属小学校
3年 田村 理央

一般展 特別賞

賞	絵 画	書 写
徳島県知事賞	鳴門教育大学付属中学校 2年 志宇知恵麻	鳴門教育大学付属小学校 3年 田村 理央
徳島県議会議長賞	藍住東中学校 1年 濱田 琳音	三縄小学校 1年 三井うたは
徳島県教育委員会教育長賞	南井上小学校 4年 武市 新大	池田中学校 3年 尾脇信一郎
徳島県市町村教育委員会 連合会会長賞	西麻植小学校 2年 岡田 涼	半田小学校 5年 鎌倉 歩生
徳島県美術家協会会長賞	鳴門西小学校 4年 吉田 拓真	昼間小学校 2年 立川茉帆乃
徳島新聞社長賞	北島小学校 6年 畠中 大地	喜来小学校 6年 小池 梨代

特別企画展 特別賞

【絵 画】

濱川 巧（加茂小1） 姫田 実依（大津西小2） 鈴木 文緒（小松島小3）
渡邊 詞子（内町小4） 新田 理乃（徳島文理小5） 近藤 花帆（徳島文理小6）
加藤 聖（池田中1） 福永 理桜（城ノ内中中等2） 上尾 優奈（三好中3）

【書 写】

中尾 美結（脇町小1） 長谷ひまり（足代小2） 三井 絃義（三縄小3）
森 愛莉（池田小4） 立川媛南乃（昼間小5） 中本 怜愛（脇町小6）
蔭山 二瑚（鳴教大附中1） 杉本 航平（三好中2） 尾脇信一郎（池田中3）



表彰式



審査風景



会場風景



第21回徳島県こども美術展出品・入選等状況

会 期 令和7年10月16日(木)～10月20日(月)

会 場 あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)

入場者数 2,902人

出品・入選等状況

【絵画部門】

※一般展は特選に特別賞を含む

種 別		一 般 展 出 品								特 別 企 画 展 出 品						
学 年		作品数	特選	準特選	優秀賞	入選	計	入選率 (%)	佳作	作品数	特別賞	優秀賞	入選	計	入選率 (%)	佳作
小 学 生	1年	509	2	2	12	30	46	9.04	104	144	1	9	21	31	21.53	20
	2年	569	2	2	19	35	58	10.19	106	133	1	7	12	20	15.04	29
	3年	584	2	2	16	38	58	9.93	93	127	1	9	13	23	18.11	13
	4年	502	2	2	23	36	63	12.55	67	94	1	6	12	19	20.21	17
	5年	501	2	2	18	25	47	9.38	58	75	1	5	12	18	24.00	6
	6年	445	2	2	6	23	33	7.42	49	63	1	5	11	17	26.98	10
中 学 生	1年	231	2	2	11	26	41	17.75	43	41	1	10	4	15	36.59	10
	2年	221	2	2	12	27	43	19.46	31	32	1	3	5	9	28.13	7
	3年	132	2	2	11	18	33	25.00	17	18	1	3	3	7	38.89	0
計		3,694	18	18	128	258	422	11.42	568	727	9	57	93	159	21.87	112

【書写部門】

※一般展は特選に特別賞を含む

種 別		一 般 展 出 品								特 別 企 画 展 出 品						
学 年		作品数 総数(特別支援)	特選	準特選	優秀賞	入選	計	入選率 (%)	佳作	作品数 総数(特別支援)	特別賞	優秀賞	入選	計	入選率 (%)	佳作
小 学 生	1年	298(1)	2	2	10	24	38	12.75	37	310	1	9	23	33	10.65	30
	2年	364	2	2	12	40	56	15.38	45	471	1	14	42	57	12.10	53
	3年	800	2	2	26	53	83	10.38	85	702	1	19	45	65	9.26	65
	4年	809(1)	2	2	25	50	79	9.77	84	1,002	1	27	55	83	8.28	85
	5年	655	2	2	21	50	75	11.45	69	740	1	20	52	73	9.86	65
	6年	573	2	2	18	43	65	11.34	61	967	1	26	55	82	8.48	84
中 学 生	1年	228	2	2	10	29	43	18.86	35	261	1	10	28	39	14.94	36
	2年	229(1)	2	2	10	28	42	18.34	31	252(1)	1	10	35	46	18.25	40
	3年	226	2	2	10	28	42	18.58	30	205	1	8	26	35	17.07	26
計		4,182(3)	18	18	142	345	523	12.51	477	4,910(1)	9	143	361	513	10.45	484

各部記録

2025 年（令和 7 年）1 月～12 月

日 本 画 部

部 会 長 岡 英彦

年間展望

◎第 31 回放美展 (5 月 3 日～5 月 6 日 あわぎんホール)

応募点数は 21 点の出品があり、力作が多かった。その中から入選 12 点、入賞 3 点、計 15 点を選んだ。放美賞の木原典子「爽秋」は、青い空と彼岸花の赤色の対比がすばらしい。優秀賞の河原智恵子「祖谷かずら橋」は、かずら橋の丁寧な描写に好感が持てる。四国大学賞の山ノ井咲奈「白」は、作者が自身と向き合って生まれた秀作。全体として、作者の気持ちが充実しているのを感じた。

審査員 (土方るみ子・中西芳雄・日浦猛史)



放美展会場



放美展ギャラリートーク

◎第 61 回新作日本画展 (6 月 26 日～6 月 29 日 阿波銀プラザ)

この展覧会は徳島県内及び徳島県に関係のある日本画作家のだれでもが気軽に参加でき、発表の場となる開かれた展覧会で、46 点の意欲あふれる魅力的な作品が出品され、多くの鑑賞者でにぎわった。62 回展は 2027 年 6 月開催の予定。

新作大賞	「春暖」	宮崎 英子
新 作 賞	「風薫る」	宮越 千佳
	「ハシビロコウ」	渡辺 澄恵
	「涼夏」	久保 守近
	「春の庭にて」	木原 典子
優 秀 賞	「あかるい夜」	大久保楨宙
	「とうがらし」	富永 博子
	「霧氷」	藤本 房子
	「如月の頃」	中溝 敦子



新作日本画展会場

◎第 79 回徳島県美術展 (10 月 8 日～13 日 あわぎんホール)

今回の審査は日本美術院同人の山田伸先生にお願いした。応募点数は 29 点で、その中から特別賞 (四国放送社長賞) 1、特選 1、準特選 3、奨励賞 3 を含む入選 21 点を選んだ。特選、



県展審査



県展会場



県展ギャラリートーク

準特選などの作品に関する審査評は次のようなものであった。

四国放送社長賞の富永博子「草草」は、色とりどりの草やその形を自分の世界にして作画で
きいる。特選の平野真里「遊」は奥行きが意識された作品で、クラゲの手の描写力が優れている。

特別2、招待7、無鑑査1、入選・入賞21の計31点を展示した。

会員消息 (月別)

2月 玄関ホールロビー展

山川地域総合センター

藤井吉信

第 53 回徳島市芸術祭美術展		シビックセンターギャラリー	
		土方るみ子（審査員出品）・土方喜美子（特別出品）・鈴木恵子（招待）	
		宮崎英子（徳島市教育委員会教育長賞）・西田江美	
3 月	日本画講座作品展	カルチャーセンター徳島	
		土方喜美子（賛助出品）・土方るみ子（賛助出品）	
4 月	第 65 回日本南画院展 東京展	東京国立新美術館	藤井瑞雲（大阪府市長会会長賞）
	はな・花展	眉峰ギャラリー	土方るみ子
	第 59 回新日春展	東京都美術館	土方るみ子・梶浦千瑞・岩脇恵子
	第 65 回日本南画院展 大阪展	天王寺美術館地下ギャラリー	
		藤井瑞雲（大阪府市長会会長賞）	
5 月	大久保楨宙日本画展	徳島市民病院 TMH ギャラリー	大久保楨宙
	玄関ホールロビー展	山川地域総合センター	藤井吉信
	ひと・人展	眉峰ギャラリー	土方るみ子
	第 64 回阿南市春季美術展	阿南市文化会館	植田忠生
	第 61 回溪生社水墨画展	あわぎんホール	久保守近
6 月	第 65 回日本南画院展 京都展	京都市京セラ美術館	
		藤井瑞雲（大阪府市長会会長賞）	
7 月	京都日本画家協会第 11 期展	京都文化博物館	土方るみ子
	GATE WAY KYOTO	東本願寺渉成園・重信会館	土方るみ子
8 月	第 8 回日美展	東京国立新美術館	
		久保守近・近藤芳治（大賞・外務大臣賞）	
2025 アスタリスク〜めぐる展		櫻ギャラリー あんこや花杏 このぶギャラリー	
		梶浦千瑞	
9 月	第 50 回鴨島文化サロン展	鴨島本郷ビル	藤井吉信
	玄関ホールロビー展	山川地域総合センター	藤井吉信
10 月	日本南画院選抜徳島展	吉野川市文化研修センター	藤井瑞雲
	第 83 回有秋会日本画展	天王寺美術館地下ギャラリー	藤井瑞雲（審査員）
11 月	第 118 回日展	東京国立新美術館	土方るみ子
	第 11 回中日美術交流総合展	中国北京画院美術館	藤井瑞雲
	第 28 回溪生社水墨画小品展	阿波銀プラザ	久保守近
	第 15 回徳島女流美術展	シビックセンターギャラリー	
		土方るみ子・石原千鶴・斎藤久代・宮越千佳	
12 月	第 54 回阿南市文化祭美術展	阿南市文化会館	植田忠生
	第 20 回 12 人展（雪の聖夜）	ギャラリーバンサン	大久保楨宙
	山川公民館祭作品展	山川地域総合センター内 山川公民館	藤井吉信
	徳島県健康福祉祭美術展	あわぎんホール	
		宮崎英子（知事賞）・西田江美（議長賞）	
第 54 回歳末チャリティー美術展		アミコ東館 6 階催事場	久保守近

洋 画 部

部 会 長 平 木 美 鶴

年間展望

◎第31回放美展 会期：5月3日～5月6日 場所：あわぎんホール

洋画部の審査は平木美鶴、嵯峨潤三、大西文代の3名でおこないました。今回の出品点数135点のうち入賞入選は96点で、出品点数での入選率71%でした。出品者数は129人で入賞入選は96人で、出品人数での入選率74%でした。

審査は複数点数出品を1点に絞る所から始まりその後は入選と保留を繰り返して最後に落選を決めました。入選者が決まった後に賞候補の決定をしています。賞候補者は25名でした。その中から放美賞1点、優秀賞5点、四国大学賞1点を決定しました。今回も高校生の作品レベルの高さは際立っていました。放美賞の森内さんをはじめに優秀賞、四国大学賞の3点が高校生です。これを機に息長く制作を続けていただきたいと思います。また、優秀賞の中で昭和9年生まれの河野さんは91歳ということで幅広い年齢層の方が受賞されていることはうれしいことです。

以下が賞候補となった方の氏名です。

(受賞者は除く) 黒島貞子、船崎久彩子、大久保佐智子、宮内一子、竹田彩夏、曾我部清美、阿部昌子、岩井春美、西田治樹、高橋味由、平岡優衣、今柴友里、藤本知花、天野沙紀、平瀬宗真、村本紗良、三上碧惟、石川かおり



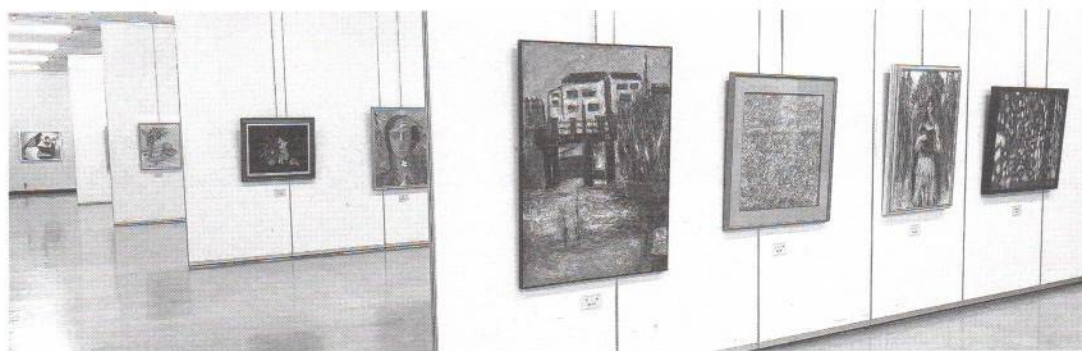
搬入の様子



ギャラリートークの様子

◎第 38 回洋画部会員展 会期：7 月 3 日～7 月 6 日 場所：あわぎんホール A 展示室

今回の会員の出品者数は 60 名でした。出品者数は例年通りですが、作品の質は高く、良い展示となりました。会期中には嵯峨、大西、平木の 3 人でギャラリートークを開催しました。作者の制作意図を聞いてから 3 人でそれぞれ思った事を話しました。質問などもあり活発な会となりました。入場者数は 222 名でした。会期中は暑い日が続いていましたが多くの方々にご覧いただけました。



会員展展示風景

◎第 79 回県美術展 会期：10 月 8 日～10 月 13 日 場所：あわぎんホール

出品者数は 166 人、出品数 194 点で前回より出品者数は 8 人減り、出品数は 25 点減りました。審査の結果 118 点の入選（入賞も含む）でした。出品数からの入選率は 61% で昨年より 1% 入選率が低くなっています。審査員は白日会常任委員、日展特別会員の寺久保文宣先生をお迎えしました。今回の審査は昨年に続き公開で行いました。審査は観覧の方々に分かりやすく審査理由を説明するなど勉強になる審査でした。厳選の上、選ばれた入選作から 30 点の賞候補を選び、そこから 14 点の受賞作が選ばれました。賞と候補の質の差はなく、どの作品が受賞してもおかしくないと思いました。また、今回も受賞作品と賞候補を中心とした展示にも工夫をしました。また、嵯峨潤三と平木美鶴でギャラリートークを開催しましたが、多くの参加があり有意義な時間となりました。

以下に賞候補者の氏名（受賞者は除く）を記します。

近清哲夫、坂東 優、金澤和子、岩井春美、宮本典子、北村照子、宮内一子、小笠正明、吉岡 毅、福良哲子、工藤 芳、鈴木敬子、林 伸也、長坂芳子、日永唯花、坂本菜摘



審査風景



ギャラリートーク

会員消息

- 東 紀美子 徳島アート 21 第 22 回展（阿波銀プラザギャラリー）、第 64 回阿南市美術展、第 54 回阿南市文化祭美術展（阿南市文化会館）
- 伊勢 浩章 第 38 回洋画部会員展（あわぎんホール）、LAST 月曜会展・徳島アート 21 第 22 回展（阿波銀プラザ）、洋画四人展（アートギャラリーグレイス）
- 乾 繁春 第 99 回国展（国立新美術館）、第 60 回関西国展（京都市京セラ美術館）、第 20 回高松絵画美学展（NHK 高松ふれあいギャラリー）、第 83 回世代美術展・第 17 回徳島絵画美学展（シビックセンター）、第 15 回鳴門水彩美学展（キョーエイ鳴門ギャラリー）
- 岩井 千晴 徳島アート 21 第 22 回展（阿波銀プラザ）、第 38 回洋画部会員展（シビックセンターギャラリー）
- 岩井 春美 個展（阿波銀行福島支店ギャラリー）、第 5 回オペラいろの会水彩展（阿波銀プラザ）
- 今井 雅省 第 84 回美術文化展（都美術館）、美術文化大阪万博記念館（大阪市立美術館）、美術文化徳島支部展・第 80 回青美展（阿波銀プラザ）、第 38 回洋画部会員展・第 53 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンターギャラリー）、第 31 回徳島県健康福祉祭美術展（阿波銀ホール）、第 89 回香川県美術展（香川県立ミュージアム）、第 7 回うだつビエンナーレ 2025（アートセンターユープラザうだつ）、ねんりんピック岐阜 2025 美術展（岐阜県美術館）
- 宇高 桂子 第 78 回女流画家協会展（都美術館）、第 38 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 11 回女子美術大学同窓会徳島支部展（阿波銀プラザ＋HIRAOKA ギャラリー）
- 遠藤 誠一 第 38 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 22 回徳島版画展・平木美鶴と仲間たち展（阿波銀プラザ）、2025 アワガミ国際ミニプリント展 吉野川市長賞（阿波和紙伝統産業会館）
- 越久 高照 第 53 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンターギャラリー）、第 38 回洋画部会員展（あわぎんホール）、うたづ Art Award ビエンナーレ 2025（Arts センターユープラザうたづ）、洋画四人展（アートギャラリーグレイス）

- 岡田 君代 第78回示現会展(国立新美術館)、第56回示現会徳島支部展・第80回青美展(阿波銀プラザ)、第78回示現会全国巡回徳島展・第38回洋画部会員展(あわぎんホール)
- 小倉満智子 第53回徳島市芸術祭美術展(シビックセンター)、第7回個展・第4回植物画同好会「やまもも」展(ギャラリー花杏豆)、第38回洋画部会員展(あわぎんホール)、AWA現代アート10周年記念展(御所山現代アート倶楽部)
- 大西 文代 第50回あわ洋画ぐるうぶ合同展(シビックセンター)、第38回洋画部会員展(あわぎんホール)
- 大西利津子 2025春季徳島二紀展(HIRAOKAギャラリー)、とくしま人物デッサン会会員展(アートギャラリーグレイス)、ひとひと展(眉峰ギャラリー)、第39回徳島二紀展(徳島県立二十一世紀館多目的活動室)、第78回二紀展(国立新美術館)
- 大津 憲文 第38回洋画部会員展(あわぎんホール)、徳島アート21第22回展(阿波銀プラザ)
- 大坪潤一郎 第8回土日会7月展(新宿ギャラリー絵夢)、第50回土日会展(国立新美術館)、第13回KENDO洋画グループ作品展(阿波銀プラザ)、第38回洋画部会員展(あわぎんホール)、個展(あんみつ館)、AWA現代アート10周年記念展(御所山現代アート倶楽部)
- 大南 芳子 第6回KENDOⅡ洋画グループ作品展(阿波銀プラザ)、示現会(あわぎんホール)
- 加川由紀子 第78回女流画家協会展(都美術館)、第38回洋画部会員展(あわぎんホール)、LAST月曜会展・徳島アート21第22回展・第13回KENDO洋画グループ作品展(阿波銀プラザ)、楽しい裸婦デッサン展(ギャラリーラパンアジル)
- 河本多恵子 第38回洋画部会員展(あわぎんホール)、徳島アート21第22回展(阿波銀プラザ)、国府文化祭(国府コミュニティーセンター)
- 河野 博匡 第13回KENDO洋画グループ作品展(阿波銀プラザ)
- 川人 健司 洋画3人展(櫻ギャラリー)、第53回徳島市芸術祭美術展(シビックセンター)、第38回洋画部会員展(あわぎんホール)
- 清原 眞弓 第53回徳島市芸術祭美術展(シビックセンターギャラリー)、第38回洋画部会員展(あわぎんホール)
- 北村 照子 第53回徳島市芸術祭美術展(シビックセンター)、第38回洋画部会員展(あわぎんホール)、第45回八紅展(阿波銀プラザ)、第53回絵で見る徳島展(あわぎんホール・徳島城博物館ホール)、八万文化祭(八万中央公民館ホール)
- 久保 和子 第83回世代美術展・第17回徳島絵画美学展(シビックセンター)、第38回洋画部会員展(あわぎんホール)、臨床美術作品展(カフェ See the San)
- 近藤 克子 日展(国立新美術館)、第91回東光展(都美術館)、東光会徳島支部展(鳴門市立図書館)、絵画美学展・第15回徳島女流美術展(シビックセンター)、鴨島美術グループ展(吉野川市文化研修センター)、石井美術の会(あわぎんホール)
- 小浜 敏也 徳島アート21第22回展(阿波銀プラザ)、第64回阿南市美術展、第54回阿南市文化祭美術展(夢ホール)、個展(アートギャラリーグレイス)
- 佐藤 敬子 第38回洋画部会員展(あわぎんホール)、第80回青美展・第17回徳島絵画美学展(阿波銀プラザ)、第83回記念世代美術展(シビックセンター)

- 佐藤 友美 吉野川市阿波市第 20 回二市交流美術展（吉野川市文化研修センター）、東光会地区展・第 38 回洋画部会員展（あわぎんホール）、総合美術展（市民プラザ鴨島）
- 嵯峨 潤三 徳島アート 21 第 22 回展・第 22 回徳島版画展（阿波銀プラザ）、第 38 回洋画部会員展（あわぎんホール）、個展（ギャラリーバンサン）
- 四宮 久子 第 38 回洋画部会員展（あわぎんホール）、春季徳島二紀展（ギャラリー HIRAOKA）、第 39 回徳島二紀展（徳島県立近代美術館ギャラリー）、第 78 回二紀展（国立新美術館）
- 篠原佳代子 第 51 回昭和美術会展（京都市京セラ美術館）、第 17 回徳島絵画美学展・第 16 回徳島女流美術展（シビックセンター）、第 54 回徳島新聞社歳末チャリティー美術展（アミコ東 6F）
- 清水 政吉 第 53 回石井美術の会作品展・第 38 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 島上 二郎 第 118 回日展（国立新美術館）、東光会徳島支部展（あわぎんホール）、第 91 回東光展（都美術館）
- 島津 千尋 第 12 回それいゆ水彩画展（シビックセンター）、第 89 回自由美術展（国立新美術館）、LAST 月曜会展・第 13 回 KENDO 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）
- 杉本 祥子 第 78 回女流画家協会展（都美術館）、第 38 回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート 21 第 22 回展・第 22 回徳島版画展（阿波銀プラザギャラリー）、個展（ギャラリー M&M）
- 鈴木 良治 2025ART FUTURE 展（台北）、台湾 2 人展童心封書（l.c.m.gallery）、つながり展（Gallery Field）、春季徳島二紀展（HIRAOKA ギャラリー）、第 39 回徳島二紀展（徳島県立二十一世紀館多目的活動室）、第 78 回二紀展（国立新美術館）、第 92 回日本版画協会展（都美術館）、第 22 回徳島版画展・平木美鶴と仲間たち展（阿波銀プラザ）、個展・ひと人展（眉峰ギャラリー）
- 鈴木 敬子 第 38 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 47 回鴨島美術グループ展（吉野川市文化研修センター）、第 53 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、徳島アート 21 第 22 回展（阿波銀プラザ）
- 谷 慎也 第 56 回土曜会（シビックセンター）、第 36 回現代パステル協会展（都美術館・大阪市立美術館）、第 80 回記念青美展（阿波銀プラザ）、第 54 回歳末チャリティー美術展（アミコ東 6F）
- 竹原 良亮 第 53 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第 38 回洋画部会員展・絵で見る徳島展（あわぎんホール）
- 田中 敏雄 第 53 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第 38 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 86 回一水会（都美術館）、洋画四人展（アートギャラリーグレイス）
- 近清 哲夫 第 6 回水彩画展（田岡病院ギャラリー）、第 38 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 手塚てる子 第 99 回国展（国立新美術館・大阪市立美術館）、第 38 回洋画部会員展（あわぎんホール）、夢のホライズン 5 人展・個展（アートギャラリーグレイス）、第 22 回徳島版画展（阿波銀プラザ）、AWA 現代アート 10 周年記念展（御所山現代アート倶楽部）
- 中村 俊夫 第 78 回示現会展（国立新美術館）、第 78 回示現会徳島巡回展・第 38 回洋画

部会員展（あわぎんホール）、第 56 回示現会徳島支部展・第 13 回 KENDO 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）

- 中辻奈美枝 第 64 回阿南市美術展・第 54 回阿南市文化祭美術展（阿南市文化会館）、徳島アート 21 第 22 回展（阿波銀プラザ）
- 西 富美 第 5 回埼玉独立小品展（埼玉ギャラリー彩光舎）、2025 独立新人選抜展（都美術館）、第 30 回仮面藻展・抽象作家による夢二もびっくり展（東京銀座ギャラリー GK）、第 38 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 23 回埼玉独立展（埼玉県立近代美術館）、第 92 回独立展（国立新美術館）、第 91 回大阪独立展（大阪市立美術館）
- 西川 敬子 第 81 回関西水彩画展（江之子島文化芸術創造センター）、第 38 回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート 21 第 22 回展（阿波銀プラザ）、第 15 回徳島女流美術（シビックセンター）、個展（田岡病院ギャラリー）、西川周三・西川敬子回顧展Ⅱ（アートギャラリーグレイス）
- 西川 周三 第 38 回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート 21 第 22 回展（阿波銀プラザ）、西川周三・西川敬子回顧展Ⅱ（アートギャラリーグレイス）
- 二條 均 第 38 回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート 21 第 22 回展・第 80 回青美展（阿波銀プラザ）、洋画四人展（アートギャラリーグレイス）
- 野口 暁子 第 45 回八紅展（阿波銀プラザ）
- 原 たず 第 50 回あわ洋画ぐるーぷ（シビックセンターギャラリー）、第 38 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 坂東 悦子 第 38 回洋画部会員展（あわぎんホール）、吉野川市藍住町阿波市二市交流展（吉野川市文化研修センター）、阿波市文化祭・阿波美術の森作品展（アエルワホール）、第 49 回旺玄会徳島支部展（阿波銀プラザ）、お多福三人展（プリッサ）
- 坂東 弘子 第 13 回 KENDO 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）
- 林 伸也 第 38 回日本の自然を描く展（上野の森美術館・原田の森ギャラリー）、第 31 回ふるさと風景画展（喜多方市美術館）
- 林 静代 第 38 回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート 21 第 22 回展（阿波銀プラザ）
- 平木 美鶴 第 38 回洋画部会員展（あわぎんホール）、春季徳島二紀展（HIRAOKA ギャラリー）、第 39 回徳島二紀展（徳島県立二十一世紀館多目的活動室）、第 78 回二紀展（国立新美術館）、第 22 回徳島版画展（阿波銀プラザ）、第 53 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第 68 回 CWAJ 現代版画展（代官山ヒルサイドフォーラム）、第 92 回日本版画協会展（都美術館）、個展（アートギャラリーグレイス・阿波銀 BASE）
- 平野 幸子 第 8 回示現会徳島支部交流展（あわぎんホール）、第 13 回洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）
- 藤丸 家栄 徳島アート 21 第 22 回展（阿波銀プラザ）、二人展（ギャラリーバンサン）
- 藤本 誠子 第 56 回示現会徳島支部展（阿波銀プラザ）、第 78 回示現会展（国立新美術館）、第 76 回示現会徳島巡回展（あわぎんホール）、第 53 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）

- 藤本 千秋 LAST 月曜会展 (阿波銀プラザ)
- 福良 哲子 第 38 回洋画部会員展・第 53 回絵で見る徳島展 (あわぎんホール)、第 45 回八紅展 (阿波銀プラザ)、小松島市美術展 (中央会館)、北小松島公民館文化祭 (北小松島公民館)
- 真鍋 弘子 徳島アート 21 第 22 回展 (阿波銀プラザ)
- 前川フキ子 徳島アート 21 第 22 回展 (阿波銀プラザ)
- 馬淵 尚子 第 38 回洋画部会員展 (あわぎんホール)、第 20 回二市絵画交流展・第 8 回文化協会交流展・第 47 回鴨島美術グループ展・第 21 回総合美術展 (吉野川市文化研修センター)
- 眞野 尚枝 第 86 回一水会 (都美術館)、第 38 回洋画部会員展 (あわぎんホール)、第 7 回 Style16 + グループ展 (京都オプトギャラリー)、SOZO 展 (みやこメッセ)
- 三橋 玄児 吉野川市カルチャーセンター洋画受講生作品展 (花杏豆鴨島店)
- 美浪 恵利 第 38 回洋画部会員展・第 64 回現代洋画秀作展 (あわぎんホール)、春季徳島二紀展 (ギャラリー HIRAOKA)、第 39 回徳島二紀展 (徳島県立二十一世紀館多目的活動室)、第 78 回二紀展 (国立新美術館)、第 62 回太陽展・第 64 回ミニヨン展 (日動画廊銀座)、たんざく展 (ギャラリー TB 和歌山)
- 峯 幸子 第 38 回洋画部会員展 (あわぎんホール)、第 78 回関西新制作展 (原田の森ギャラリー)、第 88 回新制作展 (国立新美術館)、第 88 回新制作京都展 (京セラ美術館)、第 53 回む・アート展 (阿波銀プラザ)、個展 (画廊喫茶グレース)
- 簗手日登美 2025 二科京滋支部展 (京都府立文化芸術会館)、第 83 回世代美術展 (シビックセンター)、第 50 回鴨島文化サロン展 (本郷ギャラリー)、第 109 回二科展 (国立新美術館)
- 山口美千代 第 38 回洋画部会員展 (あわぎんホール)、三好市文化まつり (三好市中央公民館)
- 結城 栄子 第 38 回洋画部会員展 (あわぎんホール)、第 53 回む・アート展 (阿波銀プラザ)
- 吉岡 毅 個展・グループ展 (よもぎ田 caffe)

写真部

部会長 上野 照文

年間展望

◎第31回放美展（5月2日（金）～6（月）あわぎんホール）

審査員上野照文、増田寿、堀口幸男の3人で4月29日に行われた。出品人数79名出品点数186点。この中から放美賞1点、優秀賞7点、四国大学賞1点、入選113点が選出された。



放美展審査風景



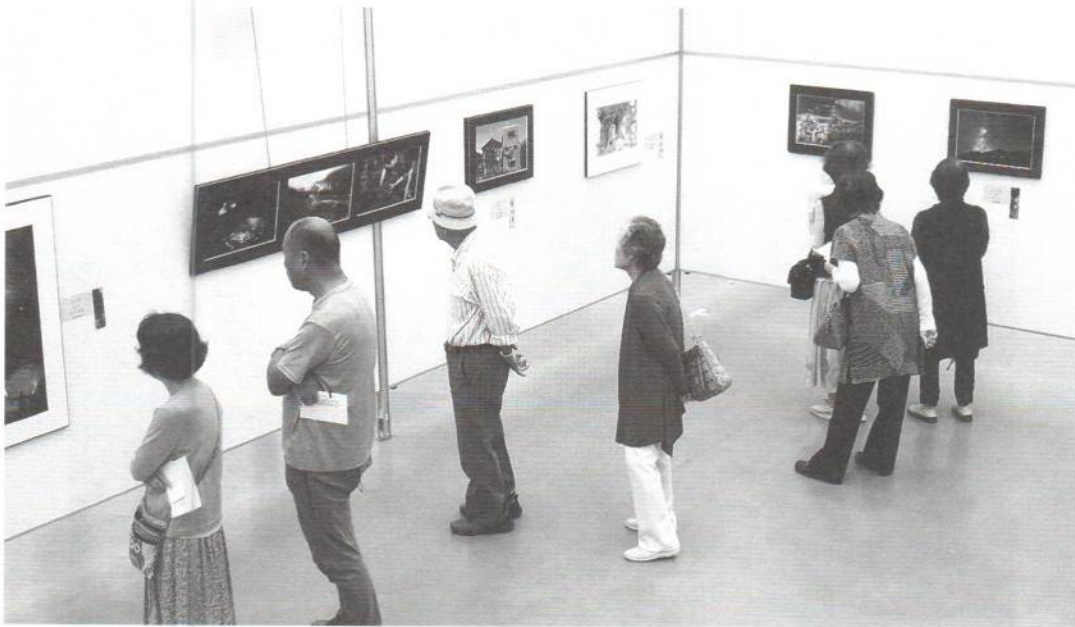
放美展ギャラリートーク

◎第 79 回県美術展（10 月 16 日（水）～ 21（月）あわぎんホール）

昨年に続き立木義浩先生を迎えて 10 月 5 日に行った。出品人数 121 人応募点数 430 点この中から特選 4 点、準特選 9 名、奨励賞 8 点、入選 97 点が選出された。



県展審査風景



県展会場風景

会員消息

- ◎第 59 回日本光画会写真展 (1 月 16 日 (木) ~ 19 日 (日) 徳島市シビックセンター)
出品者: 喜多昌弘・林 好一
- ◎第 40 回全日本写真連盟県本部写真展 (1 月 24 日 (金) ~ 26 日 (日) 徳島市シビックセンター)
出品者: 秋田召旨・秋山修一・阿部啓三・井藤光章・井上憲治・大島茂信・大津勝治
岡本早苗・賀川康廣・河野俊文・岸田義市・喜多昌弘・近藤博之・佐藤美智子
野党みきよ・橋本圭祐・林 和彦・林 敏彦・板東泰雄・姫野博司・廣野美知子
福井純子・福田 勉・三木理司・光井雅巳・森 賢一・森内昭男
- ◎第 85 回国際写真サロン (2 月 12 日 (水))
入賞者: 秋山修一
- ◎エプソンフォトグランプリ 2024 (2 月 13 日 (木) ~ 3 月 31 日 (月) 東京都新国際ビル)
グランプリ: 岡本早苗
- ◎日本風景写真協会第 19 回「徳島支部展」(3 月 7 日 (水) ~ 9 日 (月) 徳島市シビックセンター)
出品者: 岩崎英昭・住友 登・吉田隆之
- ◎福井純子写真展「新野町中村園太夫座練習風景」(4 月 1 日 (火) ~ 30 日 (水) 阿南市かも
だ岬温泉)
- ◎第 8 回徳島新光会写真展 (4 月 11 日 (金) ~ 13 日 (日) 徳島市シビックセンター)
出品者: 住友 登・三木理司・三谷美津子・光井雅巳・森 賢一
- ◎第 22 回 UNIT-D 写真展 (4 月 11 日 (金) ~ 14 日 (月) 徳島市阿波銀プラザ)
出品者: 井上憲治・上野照文・熊谷美智子・高橋一恵・多川静守・野口佳一・橋本圭祐
林 敏彦・堀口幸男・増田 寿・谷ひづる
- ◎木田写真クラブ写真と短歌 (3 月 31 日 (金) ~ 4 月 2 日 (日) 徳島県立近代美術館ギャラリー)
出品者: 木田英之・喜屋武美沙子・林 好一
- ◎第 40 回サンカ会写真展 (4 月 19 日 (土) ~ 21 日 (月) 徳島市シビックセンター)
出品者: 田中伸廣・橋本圭祐・森内昭男
- ◎第 47 回写真同人「炎」写真展 (5 月 9 日 (金) ~ 11 日 (日) 徳島市シビックセンター)
出品者: 秋山修一・阿部啓三・井藤光章・井上憲治・大津勝治・土橋成行・野口佳一
林 敏彦・廣野美知子・堀口幸男・森 賢一
- ◎徳島城阿波踊り作品コンクール (6 月 7 日))
入賞者: 近藤博之・二階博司
- ◎剣山・私の一枚写真展 (7 月 2 日 (水) ~ 13 日 (日) 板野町ギャラリーカフェブリッサ)
出品者: 岩崎英昭・木田英之・住友 登・谷ひづる・吉田隆之
- ◎第 3 回県美術家協会写真部会展 (7 月 25 日 (金) ~ 27 日 (日) 徳島市阿波銀プラザ)
出品者: 秋田召旨・秋山修一・幾田茂仁・井藤光章・稲井健司・井上憲治・井上康子
今出 弘・岩崎英昭・上野照文・梅本貞則・大島茂信・大津勝治・賀川泰廣
川真田慶治・岸田義市・木田英之・木内正大・喜屋武美沙子・国見良幸
熊谷美知子・後藤田留美子・近藤博之・佐藤政男・佐藤美智子・住友 登
高橋一恵・武知 雅・谷ひづる・土橋重行・長島 毅・新居 夷・西岡まゆみ
野口佳一・野藤みきよ・橋本圭祐・林 和彦・林 敏彦・林 好一・原嘉久仁

板東泰雄・板東よしお・平野史子・廣野美知子・福井純子・福田 勉・船越政文
堀口幸男・前浦芳久・増田 寿・三谷美津子・水口義行・宮本幸治・三好和義
森 賢一・森内昭男・森住 博・柳本 正・山上 堯・山下修司・大和健司
吉田隆之

◎写団きゅうまる写真展（7月30日（水）～8月3日（日）阿波交流防災拠点アエルワ）

出品者：柳本 正

◎第73回二科会写真部展（9月3日（水）～15日（月）東京都国立新美術館）

入選者：近藤博之・鈴江純史・姫野博司

◎第56回ナルトピンボケクラブ写真展（9月5日（金）～7日（日）北島町立創世ホール）

出品者：賀川泰廣・木田英之・武知 雅

◎19回写真同人「光」写真展（9月13（土）～15日（月）徳島市シビックセンター）

出品者：大島茂信・二階博司・林 和彦・林 敏彦・姫野博司・福井純子・福田 勉
水口義行

◎第65回写楽会写真展（9月13日（土）～16日（月）徳島市阿波銀プラザ）

出品者：井上康子・上野照文・岸田義市・喜屋武美沙子・櫛渕紳哉・後藤田留美子
長島 毅・西岡まゆみ・板東泰雄・堀口幸男

◎16回 Gruppo Foto 23 写真展（9月26日（金）～28日（月）徳島市シビックセンター）

出品者：井上康子・上野照文・喜屋武美沙子・熊谷美智子・高橋一恵・田中伸廣・谷ひづる
長島 毅・西岡まゆみ・山上 堯・吉田隆之

◎第10回写真クラブ八丁目写真展（10月10日（金）～12日（日）徳島市シビックセンター）

出品者：南 敦子・森内昭男・山下修司

◎第32回朝日四国写真展（11月2（日）高知市高知共済会館にて審査）

入賞者：福井純子・森 賢一・野藤敏美・喜多昌弘・林 和彦・福田 勉・野藤みきよ
阿部恵三・箕村復次・廣野美知子・井藤光章

◎第60回日本光画会写真展（12月11日（木）～14日（日）徳島市シビックセンター）

出品者：河野俊文・喜多昌弘・林 好一

※会員消息は会員の展覧会情報などを載せていますが、情報などが把握出来ないこともあります。開催案内などを写真部会長まで、お知らせいただければ幸いです。

立体（彫刻）部

部会長 居上真人

年間展望

2025 年に開催された放美展、徳島県美術展を中心に総括します。

◎第 31 回放美展 会期：2025 年 5 月 3 日（土）～ 6 日（火） 会場：あわぎんホール

今年度より「彫刻」という名称を「立体（彫刻）」に変更しました。理由は、出品者に幅広く多様な表現に挑戦してほしいと考えたからです。

今年の放美展では、17 点の作品が出品され、そのうち 12 点（受賞 3 点を含む）が入選しました。素材も多様でスケールの大きな作品が多く出品されており見応えがありました。また、どの作品にも制作者の思いや意図が明確に伝わってくる表現力の高さを感じることができました。

放美賞の勝間紗英さんの「ひなたぼっこ」は、ミニアキヤットをモチーフとした魅力ある作品でした。150cm ほどの大きなスケールで、前に立つと目が合い吸い込まれそうになりました。かなりの時間をかけて、この作品が生み出されたことが感じられました。

優秀賞の笠原あろはさんの「This is Life」は、徳島動物園のホッキョクグマをモチーフに表現していました。今にも動き出しそうな臨場感のある迫力を感じました。彼女は、動物園に通って数え切れないほどスケッチし、その動きを掴んだと言っていました。

四国大学賞の野田葵さんの「夢覚め」は木彫に初めて挑戦したとのことですが、木のボリューム感を生かしつつ、らせん状のフォルムを上手く彫り上げていると感じました。

今回の放美展の立体（彫刻）部門では、全ての賞が名西高校から選出されました。全ての高校生が口にしたのは「材料に触る前に 100 回スケッチをなさい。」という指導者の言葉でした。彼女らは、その言葉をしっかりと受け止め実践したそうです。素敵な作品の裏には先生と生徒の厚い信頼があったと感じました。



放美展審査風景



放美展ギャラリートーク風景

◎第79回徳島県美術展 会期：2025年10月8日（水）～13日（月祝） 会場：あわぎんホール

今回の県美術展立体（彫刻）部門の審査では、彫刻家の前田耕成先生にお願いしました。19点の内13点（入賞5点を含む）が入選しました。

前田氏は、「出品作品全体としては大学や高校での美術教育の概念から解き放たれたものが多い印象を受けた」と述べられていました。

特別賞・特選には、川村桂子さんの「春の彩り花木」が選ばれました。審査評では、「これまでの立体（彫刻）にはなかった作品だと思う。どちらかというと工芸の方に寄っているが、素材の重ね方がとても良く、十分立体作品になっている。しっかりとした立体作品であるのに、春の彩りという微妙なイメージを表現できていて感心した。これからも自分の思うままに制作してほしい」と評価されました。

次に準特選には、田中文音さんの「うつろい」が選ばれました。審査評では、「壁から出てくるようなカメレオンの様子がとても新鮮に感じられた。尻尾の置き方も面白い。絵の具を混ぜた石粉粘土の使い方が見事で、色のバランスが良い。次の作品を見てみたい」と評価されました。



県展審査風景



県展会場風景



県展ギャラリートーク風景

もう一つの準特選には、勝間紗英さんの「赦し」が選ばれました。審査評では、「これだけの大きな作品にチャレンジしたことをまず評価したい。形状的におかしなところがたくさんあるが、それがかえって魅力になっている。ほんわかした感じで、作者の優しさが表れている」と評価されました。

また、「出品作品全体としては、大学や高校での美術教育の概念から解き放たれたものが多い印象を受けた。作者それぞれのアイデンティティーが出ていた」と統括されました。



県展ギャラリートーク風景

会員消息 (県展・放美展関係は除く。順不同)

居上 真人	2月	第52回 徳島市芸術祭美術展 特別出品	シビックセンター
	6月	2025 宮崎現代彫刻・空港展	宮崎プーゲンピリア空港
	8月	第18回 KAJIMA 彫刻コンクール 模型入選	東京都
	9月	第2回あさごビエンナーレ 入選	兵庫県朝来市
	10月	第63回 徳島彫刻集団 野外彫刻展	徳島中央公園
	11月	第11回 日本彫刻コンクール 入選	兵庫県神戸市日本芸術センター
井下 俊作	10月	第63回 徳島彫刻集団 野外彫刻展	徳島中央公園
大貝 貞雄	12～1月	陶と造形 大貝貞雄・大貝寿子夫婦展	日和佐勝瀬モーターズギャラリー
	2月	第52回 徳島市芸術祭美術展 無鑑査出品	シビックセンター
	10月	第63回 徳島彫刻集団 野外彫刻展	徳島中央公園
大貝 寿子	12～1月	陶と造形 大貝貞雄・大貝寿子夫婦展	日和佐勝瀬モーターズギャラリー
	10月	第63回 徳島彫刻集団 野外彫刻展	徳島中央公園
河崎 良行	3月	2025 春季 徳島二紀展	HIRAOKU ギャラリー
	4月	裸婦デッサンとクロッキー展	アミコシビックセンター
	7月	とくしま人物デッサン会員展	アートギャラリーグレイス
	7月	河崎良行デッサン展	HIRAOKU ギャラリー
上月 佳代	2月	第52回 徳島市芸術祭美術展 審査員出品	シビックセンター
		第11回 二紀会彫刻部会員展	ギャラリー絵夢

	3月	2025 春季 徳島二紀展	HIRAOKU ギャラリー
	4月	徳島新聞カルチャー講座 裸婦デッサンとクロッキー展	シビックセンター3F ギャラリー
	5月	ひと・人展	眉峰ギャラリー
	6月	第11回 ゲタ箱展	大田原市芸術文化研究所
	7月	とくしま人物デッサン展	アートギャラリーグレイス
	8月	第39回 徳島二紀展	徳島県立二十一世紀館 多目的活動室
	10月	第78回 二紀展	国立新美術館
	11月	第11回 女子美術大学同窓会徳島支部展	阿波銀プラザ+HIRAOKA ギャラリー
	11月	モイモイ 14：今年のかんじ	moi moi gallery
武田亜希子	2月	第53回 徳島市芸術祭美術展 審査員出品	シビックセンター
	2～3月	第11回 二紀会彫刻部会員展	ギャラリー絵夢
	3月	2025 春季 徳島二紀展	HIRAOKU ギャラリー
	5月	丹沢アートフェスティバル峠のアート展	アトリエ横山
	6月	第18回 BOX 展 佳作賞	東京都・三田建業会館1F ギャラリー
	6月	第11回 ゲタ箱展	大田原市芸術文化研究所
	8月	Tシャツ展5	うしお画廊
	8月	第39回 徳島二紀展	徳島県立21世紀館多目的活動室
	10月	第78回 二紀展	国立新美術館
	11月	絵画×彫刻小品展	Gallery 美庵
東 光司	1月	第56回 モダンアート徳島支部展	あわぎんプラザ
	4月	第74回 モダンアート展	東京都美術館
	10月	第63回 徳島彫刻集団 野外彫刻展	徳島中央公園
	10月	関西モダンアート新宮展	新宮市丹鶴ホール
	12月	関西モダンアート作家展大阪展	ホルベイン アートスペース
松永 勉	2月	第53回 徳島市芸術祭美術展 審査員出品	シビックセンター
	9月	きのうとあすの対話V 2025	兵庫県立美術館分館原田の森ギャラリー
	9月	第80回 記念展 行動展	国立新美術館
	10月	第80回 記念展 行動展関西巡回展	大阪市立美術館
	10月	第63回 徳島彫刻集団 野外彫刻展	徳島中央公園
	11月	第4回 峡谷の郷おったち現代美術展	旧出雲市立乙立小学校
	11～12月	石見銀山小品展	島根県大森町群言堂
	11月	馬原医院 彫刻作品「萌芽」設置	阿南市新野町
	12月	第54回 歳末チャリティー美術展	アミコ東館6階
	12月	今岡美術館 彫刻作品2点収蔵	島根県出雲市
吉田 陽子	10月	第63回 徳島彫刻集団 野外彫刻展	徳島中央公園

美術工芸部

部会長 松下 慶一

年間展望

◎第31回放美展 令和7年5月3日(土)～5月6日(火) あわぎんホール

4月29日(火)公開審査が行われた。出品数は前回より4点少ない59点であった。ジャンル別では陶磁27点、押し花9点、パッチワーク7点、染色4点、ガラス3点、人形3点の順に多かった。その中から41点を入選とし、放美賞1点、優秀賞2点、四国大学賞1点が選出された。審査員出品3点、無鑑査出品3点も展示された。壁面作品25点、立体作品が34点であった。内容的には力のある作品が多かった。ただ工夫とさらに追求し今後につなげて欲しい。

審査員は森賢一(木)、森明治(陶磁)、藤井哲信(ガラス)がつとめた。5月3日にギャラリートークが行われ、作品についていろいろな質問に3人の審査員が答えた。



放美展審査風景

◎第79回県美術展 第2期 令和7年10月15日(水)～20日(月) あわぎんホール

令和7年9月28日(日)あわぎんホールで審査が行われた。第79回県美術展の美術工芸部門の応募作品点数は100点(前回98点)と前回より2点増えた。ジャンル別では陶磁42点、パッチワーク23点、押し花8点、染色8点、ガラス6点、木5点の順に多かった。

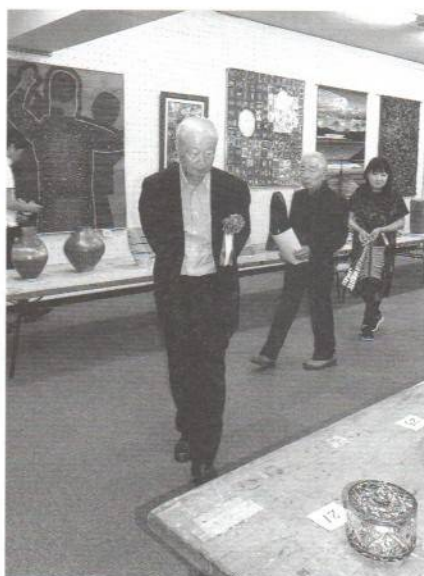
今回の審査は春山文典先生(金工)日本芸術院会員、日展評議員・審査員、現代工芸美術家協会常務理事にお願いし、公開審査で行われた。総評では「徳島は平面、特にパッチワークが目立ち、どれもレベルが高い。陶芸なども立派なものが多い。来年に向けてさらに切磋琢磨してほしい」ということであった。審査終了後「審査員の先生を囲む会」を出品者の方に参加を募って開いた。春山文典先生に会場の方でも、多くの出席者の方が色々と質問しご指導をいただいた。

第79回県美術展でもギャラリートークが行われた。10月19日(日)森賢一(木)、橘恵(染色)、森明治(陶磁)がつとめ、出品者や見に来られた方たちから質問を受け作品を作るときの気持ちなどを語った。

◎最後になりましたが美術工芸部理事の松下慶一(陶磁)が、「第17回とくしま芸術文化賞」を受賞しました。

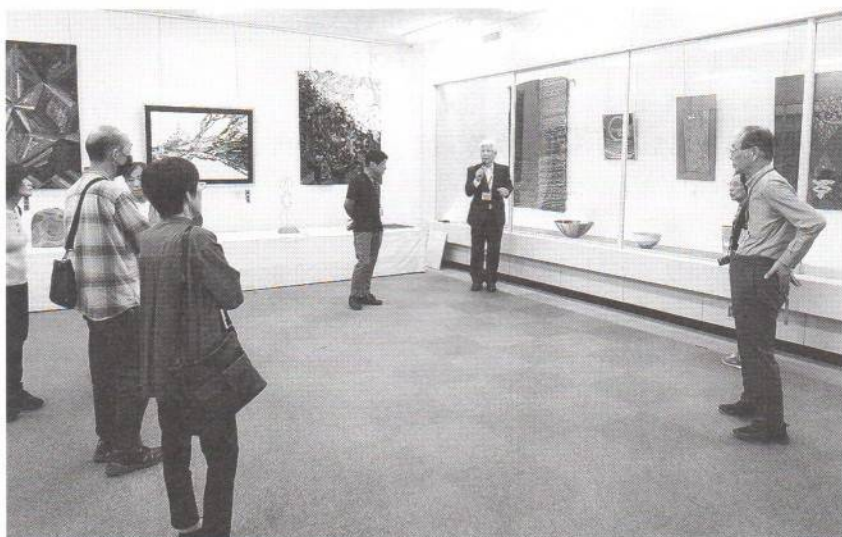


県展審査風景



県展会場風景





県展ギャラリートーク風景

会員消息 (県展・放美展を除く)

石川 真一	・第53 回徳島市芸術祭美術展 (無鑑査)	2 月	シビックセンター
	・令和7 年度全国現代クラフト展 (徳島新聞社賞)	9 月	あわぎんホール
	・第53 回全国公募徳島県手工芸展 (努力賞)	11 月	あわぎんホール
上田 優	・きりえサークル徳島グループ展	4 月	キョーエイ鳴門駅前店
	・日本きりえ美術展	11 月	東京都美術館
	・第53 回全国公募徳島県手工芸展 (招待)	11 月	あわぎんホール
大井川良江	・吉野川市藍住町文化協会交流展	3 月	吉野川市文化研修センター
	・あいずみ文化祭	11 月	藍住文化ホール
大貝 貞雄	・陶と造形、大貝貞雄 大貝寿子夫婦展	1 ~ 12 月	日和佐勝頼ギャラリー
	・第53 回徳島市芸術祭美術展 (特別出品)	2 月	シビックセンター
	・吉野川市、阿波市合同美術展	3 月	吉野川市文化研修センター
	・吉野川市芸術祭第21 回総合美術展	9 月	吉野川市文化研修センター
	・第53 回全国公募徳島県手工芸展 (招待)	11 月	あわぎんホール
楠 博子	・第39 回ふう布パッチワークキルト展	10 月	シビックセンター
近藤佐起江	・第53 回全国公募徳島県手工芸展 (招待)	2 月	シビックセンター
	・第63 回日本現代工芸美術展 (現代工芸賞)	4 月	東京都美術館
	・吉野川市芸術祭第21 回総合美術展	9 月	吉野川市文化研修センター
	・第118 回日展	10 ~ 11 月	国立新美術館
	・第53 回全国公募徳島県手工芸展	11 月	あわぎんホール
近藤美佐子	・第63 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
柴 純代	・喜寿4 人展	4 月	美波町図書館
	・第9 回夢のはなパッチワークキルト展	12 月	あわぎんホール

高瀬 裕司	・第53 回徳島市芸術祭美術展（徳島市議会議長賞）	2 月	シビックセンター
	・第53 回全国公募徳島県手工芸展（努力賞）	11 月	あわぎんホール
高橋 正昭	・第53 回全国公募徳島県手工芸展（徳島市教育委員会教育長賞）	11 月	あわぎんホール
	・2025 徳島ねりんピック美術展（徳島県知事賞）	12 月	あわぎんホール
田村栄一郎	・JAPAN BLUE 大谷焼	8 月	青山スクウェア
	・日本国際博覧会「大阪・関西万博」	9 月	夢洲
	・テーブルウエアフェスティバル	12 月	東京ドームシティプリズムホール
鳥井 明子	・第63 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・第118 回日展	10～11 月	国立新美術館
内藤 久子	・第63 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・第118 回日展	10～11 月	国立新美術館
	・第9 回夢のはなパッチワークキルト展	12 月	あわぎんホール
長尾 敏子	・第53 回徳島市芸術祭美術展（招待）	2 月	シビックセンター
	・出羽島アート展2025	3 月	牟岐町出羽島
	・長尾敏子ガラス作品展	7 月	田岡病院
	・ガラススタジオ作品展	8 月	ホテル千秋閣
	・第53 回全国公募徳島県手工芸展	11 月	あわぎんホール
仁田 和子	・吉野川市芸術祭第21 回総合美術展	9 月	吉野川市文化研修センター
	・第19 回井川文化まつり	11 月	三好市井川町辻小学校
福本美智代	・キルトフェスティバル2025	2 月	みやこメッセ
	・第63 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・第118 回日展	10～11 月	国立新美術館
	・第53 回全国公募徳島県手工芸展	11 月	あわぎんホール
	・第9 回夢のはなパッチワークキルト	12 月	あわぎんホール
藤井 哲信	・藤井哲信「藍のガラス」展	6 月	ギャラリーたちばな（奈良）
	・藍色のガラス展	8 月	ギャラリーM&M
	・高岡2025 クラフト展	10 月	御旅屋セリオ（富山県）
	・第67 回伝統工芸四国展	10 月	高松三越
前野 亮治	・モダンアート徳島支部展	1 月	阿波銀プラザ
松下 慶一	・松下慶一作陶展	11 月	大谷焼矢野陶苑展示場
松下 敏之	・「青藍窯」松下敏之作陶展	4 月	ギャラリーM&M
丸居 哲雄	・令和7 年度全国現代クラフト展	9 月	あわぎんホール
	・上板町文化祭	11 月	農村環境改善センター
森 賢一	・第63 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・第118 回日展	10～11 月	国立新美術館
家形笑美子	・吉野川市芸術祭第21 回総合美術展	9 月	吉野川市文化研修センター
	・小松島市芸術祭	10 月	小松島市サウンドハウスホール
山本 仁恵	・吉野川市、藍住町文化協会交流展	3 月	吉野川市文化研修センター
	・令和7 年度全国現代クラフト展	9 月	あわぎんホール

	・あいずみ文化祭	11月	藍住町文化ホール
山本 由実	・第63回日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・第3回宙物語	6月	じょじょりん(鳴門市)
	・第118回日展	10～11月	国立新美術館
吉野 由紀	・第53回徳島市芸術祭美術展 (招待)	2月	シビックセンター
	・令和7年度全国現代クラフト展	9月	あわぎんホール
	・全国現代クラフト展 in 阿波市	11月	阿波市アエルワ
四十宮年代	・第53回徳島市芸術祭美術展 (特別出品)	2月	シビックセンター
龍木 秀子	・第53回全国公募徳島県手工芸展	11月	あわぎんホール
	・第9回夢のはなパッチワークキルト展	12月	あわぎんホール

書 道 部

部 会 長 亀 石 文 苑

年間展望

今年も会員の皆様のご協力により、無事に各展覧会が開催されたことに感謝申し上げます。春は放美展と県書道展の開催期日が近いため、放美展の出品者が増加しないのが残念です。秋の県展は、徳島県の書道レベルが上がって、審査員の先生方も皆さんの実力を認めてくださっているのは、喜ばしい事だと思います。

(＊以下敬称略・順不同)

◎第31回放美展 5月3日(土)～6日(火) あわぎんホール3階

作品搬入と審査・展示を4月29日(火)1日で実施した。午前中は田村元・向井京・森・玉城乾舞・亀石・アルバイト数名で作品搬入、1時から3時まで公開審査、昨年から入賞者選抜に関しては各部門から2倍の点数を選び、3名の審査員で意見を出し合い、合意の上で賞を決定した。3時以降7時まで作品展示、表彰式は5日(月)2時からギャラリートークは6日(月)11時から実施、今年度審査員の玉城乾香・向井京・田村元の3名が担当した。

応募点数 159点(前回比－67点) 放美賞 1点 優秀賞 6点 四国大学賞 1点 入選 103点 審査員作品 3点 無鑑査作品 2点 計116点を展示した。



審査風景



会場風景



ギャラリートーク

◎第79回県美術展 10月22～27日 あわぎんホール3階

応募点数 540点（前回比－30点） 応募人数 340名（前回比－6名）

特別出品 2名 招待 32名 無鑑査 5名

徳島市長賞 1名 特選（特別賞を除く） 7名 準特選 14名 奨励賞 13名

入選 287名の計 322点を展示した。

○書類搬入 9月27日（土） あわぎんホール3階A展④⑤

協力者：谷本真・長井・岡部・田上・谷令・板東亜・戸出・横田・中尾・山本景・大久保・
内田美・内田麻・笹田・石堂・川端・高瀬・浜・後藤・吉田翠・佐藤恵・長原・
玉城乾舞・山口幽・中川一・日下・梶川・荒井・森・林美・亀石 計31名

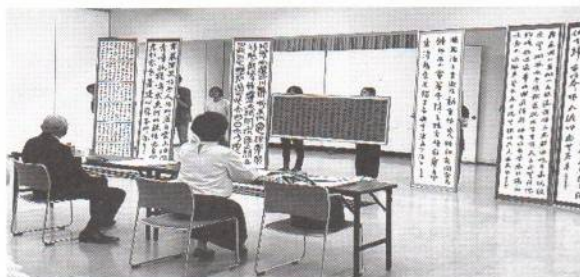
○作品搬入 10月3日（金） あわぎんホール3階A展①～④ B展⑥～⑧ 大展

協力者：河野多・八木・寺澤・川村・三好恵・吉村・眞柄・吉田翠・山本星・福家・横田・
草刈・松本・藤田美・三宅・杉本裕・宮守・山水・大西英・野田・吉岡・大西清・
木田・佐藤・梶川・荒井・岩本志・森・林美・亀石 計30名

○審査 10月4日（土） あわぎんホール3階A展①～⑤ B展⑥～⑧ 大展

審査員に、漢字・篆刻は有岡郊崖先生、仮名は倉橋奇艸先生、近代詩文は福田鷲峰先生をお迎えし、厳正な審査をしていただいた。審査は公開審査で見に来られた方は椅子に座って審査風景を見られ、先生の批評も聞くことができるので、たくさんの方に見に来て欲しいと思う。審査協力者の先生方は、専門外の部門を担当するなど、公平・公正性に配慮し、審査後には誤発表とならないように細心の注意と確認をしていただいた。

協力者：森・加村・向井京・長原・玉城乾・岩本・梶川・福家・矢部・鳩成・林美・
谷本真・川村・荒井・亀石 計15名 学生アルバイト25名

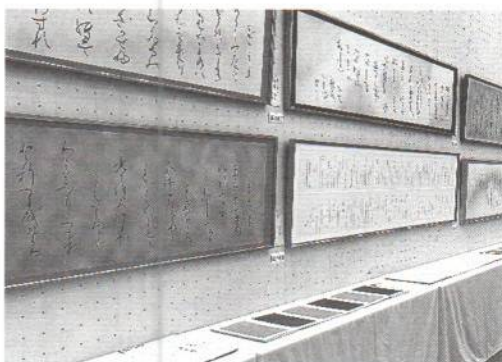


県展審査風景（漢字・仮名・近代詩文・前衛）

○写真撮影 10月5日(日) 8:50 集合 9:00～13:30 あわぎんホール3階 B展⑦～⑧
 協力者：勝浦・土井・井上雄・須原・井上景・内田美・石川英・武田玲・阿部珠・谷本真・
 荒井・岩本志・森・亀石 計14名

○展 示 10月21日(火) あわぎんホール3階A展①～⑤ B展⑥～⑩ 大展
 作品を重文庫より運び出し入賞作品・入選作品の配置を決める作業の後は、業者さんだけでなく、書道部員も一緒に展示作業となった。皆さんのご協力のお陰で早く作業が進んだ。最後に高さ、作品間の広さなどをチェックし、名札をつけて無事終了した。

協力者：澤本・谷本真・岡本・矢部・岩本義・伊達・稲井・丸岡・中村春・古川・前田・
 松崎・渕下・市原・戸出・横田・西・高橋芳・井上景・篠賀・満村・森本・
 阿部博・高瀬・平岡・多田清・樫山・岡崎・金城・富永美・中川観・梶川・
 上田華・荒井・森・福家・林美・亀石 計38名



○ギャラリートーク 10月26日(日) 11:00～12:00



漢字は林美・仮名は亀石・近代詩文は岩本が担当し、たくさんの人が参加してくださった。墨量や墨色によって表現の方法や作品効果が異なることや余白や間の取り方で白が美しく見える事など普段聞きたいけど聞けない事が聞けて良かったと感想をいただいた。

○搬 出 10月27日(月) あわぎんホール3階A展①～⑤ B展⑥～⑩ 大展
 協力者：河野美・近藤・園尾・山下・山口幸・辻・木許・横田・森百・背川・脇坂・
 和田・平岡・森岡・大井・森本・荒井・岩本志・亀石 計19名

会員消息 (県展・県内社中展を除く)

◎県外展の役員出品者・入賞者 (令和7年1月～令和7年12月)

○第66回太玄会書展 (東京都美術館 1/21～26)

総 務 中尾勝子
理事・実行委員 西谷香峰・弘田長風
理 事 鈴木恵理

○第46回日本書道学院展 (東京都美術館 1/28～2/2)

常 任 理 事 薄田玲泉・河野真流
理 事 赤川景舟・井上景玄・井上虹雨・倉本景雨・背川景玲・高橋芳琴
松本景芳・宮守崇流・森 光翔・山本景琴

○第56回正筆会菁華書作展 (東京銀座画廊 2/27～29)

常 任 理 事 亀石文苑
常任総務理事 加村喜美子・糺真理子
総 務 理 事 内田麻紀

○第61回創玄展 (国立新美術館 3/6～16)

一 科 審 査 員 荒井彭仙・玉城乾香・浜 佳香
二 科 審 査 員 多田清芳・岩本志豪・岡崎啓香・高瀬大峯・長原皋月
審 査 会 員 吉田和婉・平岡幽琴・岸 緑香・朝三皐如・山口幽径・大西清葩
佐藤恵和・武田玲香・仁木志香・玉城乾舞・丸田恵風・野田満代
川又晃容・遠藤玻都恵・児玉永祥

準 大 賞 武田玲香
秀 逸 荒井遥風・坂尾竟成・富永美祥・藤本瑤香
二 科 賞 賀上宏実

○第87回謙慎書道会展 (池袋サンシャインシティ 3/16～22) (東京都美術館 3/18～23)

常 任 理 事 米澤東籬
理 事 石川翔芳
評 議 員 竹内靖磐

○第12回轟友会書展 (愛知県立美術館 4/1～6)

常 任 理 事 米澤東籬

○第59回雪心会書作展 (奈良市美術館 4/2～6)

F ク ラ ス 青木東原
E ク ラ ス 吉村敬子・河見踏春

○第79回日本書芸院展 (大阪国際会議場 4/23～27)

参 与 薄田玲泉・能仁華瑤・伊丹東龍・福永美泉・亀石文苑
評 議 員 辻 紅雲・福家美鵬・川村春琴・森 光翔・吉田翠彩・山本景琴
古川秀蕙
一科審査会員 清水桂月・松永翠月・八木藍玉・井上虹雨・林 美雪・河野多美

		背川景玲・松本景芳・佐野収華・高橋芳琴・青木東原・阿部博子 恵美春陽・廣瀬蕙花・岡部比登美・井上景玄・稲木裕美・杉本裕子 市原美希・河野美鶴・加村喜美子・糀真理子
二科審査会員		節 爽韻・折野佳子・寺尾俊通・吉村敬子・園尾恵風・板東亜美 河見踏春・稲井華風・木村秀光
史 邑 賞		田村元帥
大 賞		杉本香苑・河野美鶴
準 大 賞		園尾恵風・谷 令琴
特 別 賞		稲井華風・佐竹夏実・畠山花鮮・前田翠琉
準 特 別 賞		岩本義浩・木村秀光
特 選		京野白燕・多田彩峰・三宅葉子
一科推薦賞		塩田龍澄

○第53回日本の書展（マイドームおおさか 5/6～8）

招 待	清水桂月・伊丹東龍・薄田玲泉・亀石文苑・川村春琴・井上虹雨 辻 紅雲・河野多美・福家美鵬・吉田翠彩・森 光翔・山本景琴 古川秀蕙・勝浦光濠・福永美泉
秀 抜 選	武市鳴雲・井上景玄・背川景玲・松本景芳・高橋芳琴・岩本志豪 吉田和婉・八木藍玉・田中子葉・戸出芳泉・田村元帥・佐野収華 恵美春陽・岩本義浩・内田麻紀・加村喜美子・糀真理子・丸岡春暁

○2025大阪万博 未来へつなぐ日本の書～空・海・時を超えて～

（EXPO メッセ「WASSE」 5/7～11）

出 品 者	伊丹東龍・辻 紅雲・福家美鵬・吉田翠彩・古川秀蕙・亀石文苑
-------	-------------------------------

○第43回日本詩文書作家協会書展（セントラルミュージアム銀座 6/3～8）

評 議 員	玉城乾香
正 会 員	幸田清尚・玉城乾舞

○2025大阪万博 白と黒の伝統～書と囲碁の世界～（EXPO メッセ「WASSE」 6/6～8）

毎 日 会 員	高瀬大峯・吉田和婉・幸田清尚・浜 佳香
毎 日 会 友	川又晃容

○第76回朝陽書道会展（岡山県天神山文化プラザ 6/13～15）

顧 問	薄田玲泉
副 理 事 長	森 光翔
専 務 理 事	井上虹雨
常 任 総 務	山本景琴
常 任 理 事	井上景玄・背川景玲・松本景芳・高橋芳琴

○第48回由源全国書道展（大阪市立美術館 6/25～29）

理 事	川村春琴
常 任 委 員	丸岡春暁・中村春岳・山口幸琴・谷 令琴

○第63回墨滴会全国書展（大阪市立美術館 7/1～6）

常任理事 戸出芳泉

○第39回玄心書道展 (兵庫県原田の森ギャラリー 7/4～6)

董事 伊丹東龍

常任総務 辻 紅雲・福家美鵬・古川秀蕙・吉田翠彩・勝浦光漾・田村元帥

常務理事 田中子葉・由宇星華・谷内花聲・前田翠琉

理事 畠山花鮮

○第76回毎日書道展 (国立新美術館 7/9～8/3) (愛媛県立美術館 8/20～24)

審査会員 荒井彭仙・玉城乾香・長原皋月

会員 浜 佳香・多田清芳・岩本志豪・吉田和婉・平岡幽琴・高瀬大峯
幸田清尚・玉城乾舞・中川観山・大西清葩

秀作 岸 緑香

佳作賞 児玉永祥・長尾香蘭

○第62回水穂書展 (京都市京セラ美術館 7/18～20)

総務 向井京子

○第41回読売書法展 (国立新美術館 8/22～31) (サンメッセ香川 10/11～13)

参与 薄田玲泉・能仁華瑤

理事 伊丹東龍・亀石文苑・辻 紅雲・林 美雪・川村春琴・米澤東籬
井上虹雨・河野多美・福家美鵬・吉田翠彩・森 光翔・古川秀蕙
山本景琴・勝浦光漾・田村元帥・福永美泉・加村喜美子・梶真理子
幹事 井上景玄・背川景玲・松永翠月・佐野収華・青木東原・松本景芳
中尾勝子・田中子葉・河野美鶴・阿部博子・鈴木恵理・高橋芳琴
籔 爽韻

評議員 内田麻紀・杉本裕子・折野佳子・丸岡春暁・稲木裕美・由宇星華
前田翠琉・谷内花聲・恵美春陽・向井境子・石川翔芳

読売俊英賞 井上景玄

読売奨励賞 由宇星華

特選 畠山花鮮

秀逸 板東亜美・稲井華風・香川百々花・斎藤窓陽・中村春岳・脇坂 優

○第65回記念環社書展 (大阪市立美術館 8/26～31)

顧問 清水桂月

参事 能仁華瑤

参与 南 溪石

常任理事 八木藍玉・松永翠月・横田典子・林 美雪・河野多美・鈴木恵理
弘田長風・佐野収華

理事 田上洋香・岡部比登美・河野美鶴・澤本悠洸・籔 爽韻・伊藤景風
恵美春陽

幹事 上田美智・井上加芳・稲井華風・磯川味香・伊達静蘭・北村清翠
園尾恵風・木村秀光・多田彩峰・一宮堆川

幹 事 推 薦 賞 岩本義浩

○第15回記念日本書道学院代表作家展（東京芸術劇場 10/8～13）

常 任 理 事 薄田玲泉・河野真流

理 事 赤川景舟・井上景玄・井上虹雨・背川景玲・高橋芳琴・松本景芳
宮守崇流・森 光翔・山本景琴

○第118回日本美術展（国立新美術館 10/31～11/23）

入 選 伊丹東龍・辻 紅雲・勝浦光漾・田村元帥・田中子葉・八木藍玉
米澤東籬・森 光翔・山本景琴・亀石文苑・加村喜美子・糀真理子
向井京子・中尾勝子

○第74回奎星展（東京都美術館 11/1～8）

同 人 中川観山

○第51回創玄現代書展（セントラルミュージアム銀座 11/3～9）

入 選 丸田恵風

○第60回現創会書展（京都市京セラ美術館 11/21～23）

理 事 福永美泉

特 選 稲木裕美・板東亜美

○第66回墨華書道展（高松市美術館 11/28～30）

理 事 中川観山

同 人 佐藤由紀代

○第34回謙慎書道会西部展（四国大学交流プラザ 12/12～14）

常 任 理 事 米澤東籬

理 事 石川翔芳

評 議 員 竹内靖磐

○第77回正筆展（兵庫県原田の森ギャラリー 12/13～14）

常 務 理 事 亀石文苑・加村喜美子

常任総務理事 糀真理子

総 務 理 事 阿部博子・内田麻紀・杉本裕子

常 任 理 事 脇坂 優・折野佳子・寺尾俊通・田岡佐記子・三宅葉子・向井境子

理 事 今津紫秋・中川年代・濱口 恵・平尾卓美・藤田美也子・篠賀知代
坪井佳代

梅 花 賞 森 眞美

◎県内社中展や個展等

○第16回 徳洋社書作展	県立文学書道館	1月31日～ 2月 2日
○第48回 東玄書道会展	阿波銀プラザ	2月14日～ 16日
○第10回 虹光会書展	阿波銀プラザ	2月21日～ 24日
○第56回 清潮書作展	阿波銀プラザ	2月28日～ 3月 2日
○第52回 光輪社書作展	県立文学書道館	2月28日～ 3月 2日
○第9回 青藍会書作展	阿波銀プラザ	3月 7日～ 9日
○第12回 桂和会書展	藍商佐直 吉田家住宅	3月21日～ 23日
○第5回 徳島玄心会書展	県立文学書道館	3月28日～ 30日
○第45回記念 書研社展	徳島市シビックセンター	3月28日～ 30日
○第38回 正鋒会書展	石井中央公民館	5月 2日～ 4日
併催 能仁華瑤回顧展	石井中央公民館	5月 2日～ 4日
○第18回 幽の会書展	徳島市シビックセンター	5月16日～ 18日
○多田清芳 書のあゆみ展	徳島市シビックセンター	5月29日～ 6月 2日
○森裕美子・田村富士子姉妹書展	県立文学書道館	5月30日～ 6月 1日
○第31回 耿の会書作展	県立文学書道館	6月 6日～ 8日
○第90回 書芸院展	阿波銀プラザ	9月 4日～ 7日
○第70回 書協人展	あわぎんホール	9月21日～ 23日
○第10回記念 由源書心会展	県立文学書道館	11月14日～ 16日
○第55回記念 直心会書展	あわぎんホール	11月21日～ 23日
○第45回 臨池書展	徳島市シビックセンター	11月29日～ 30日
○第28回 せゝらぎ書展	徳島市シビックセンター	12月 5日～ 7日
○令和7年度 高校教員書道展	県立文学書道館	12月 6日～ 7日
○第29回 尚真書展	あわぎんホール	12月13日～ 15日

※会派からの報告を受けて掲載しております。

掲載を希望される場合は、会派で取りまとめ 12 月 20 日までに部会長までお送りください。無所属の方は個人でお送りください。ただし掲載は美術家協会会員に限ります。

デザイン部

部会長 四十宮 隆志

年間展望

5月の総会を経て、敷島のり子氏が美術家協会の副会長、四十宮がデザイン部会長に、それぞれ就任して心機一転のスタートを切った。また10月の県展後に岩佐俊彦さんが入会し、デザイン部は16名となった。連絡手段の簡素化や、会計処理などの作業効率化を進めて次世代への橋渡しを円滑にしたい。

◎第31回放美展（2025年5月3日～6日・あわぎんホール）

4月29日に公開審査が行われ、出品点数101点のうち71点が入選し、その中から6点が受賞した。デザイン部門の審査には、坂野美恵子、敷島のり子、田中一郎の3名が当たった。また、5月6日に実施したギャラリートークも審査員3名が担当した。

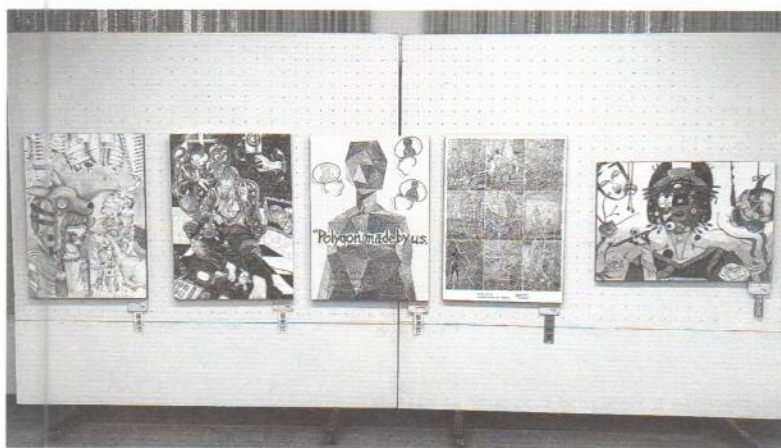
高校生の出品が多数を占めることに変わらないが、全体の出品数はやや減少傾向が続いている。対策として、今年初めて通常の半分となるB2サイズを出品規定に盛り込んでみたが、改訂後初回の応募ということもあって出品数の増加には結びつかなかった。



放美展審査風景



放美展ギャラリートーク風景



放美展展示風景

◎ 2025 年度デザイン部会 (2025 年 9 月 22 日・沖浜 USA)

＜出席＞天羽宏美・生田典子・斎藤繁次・斎藤志津子・坂野美恵子・佐藤あすか・田中一郎
西林良枝・山野井宏宗・四十宮隆志

新体制になって初めてのリアル会議を開催。目前の県展審査・展示の各担当や段取りを確認し、来年度に向けたイベント案などが承認された。

◎第 79 回徳島県美術展 (2025 年 10 月 15 日～20 日・あわぎんホール)

10 月 5 日に公開審査が行われ、出品点数 63 点のうち 44 点が入選し、その中から 8 点が受賞した。デザイン部門の審査には、今回初となる色部義昭氏をお招きした。色部氏は大阪メトロ CI 計画や今年話題になった大阪・関西万博のアートディレクションを手がけており、奇しくもタイムリーな人選となった。交通機関の遅延により 30 分遅れの審査となったが、ベテランから新人まで熱量を感じる作品が選出された。審査終了後には色部氏を囲む会を開催し交流を深めた。

また、会期中に行われたギャラリートークでは、四十宮が解説を担当。屋外イベントで賑わう日曜の午後であったが、来場された皆さんから熱心に耳を傾けていただけた。

なお、県展も今年から B2 サイズを出品可とし、放美展と歩調を合わせることにした。条件を緩和したことが出品点数の押し上げにつながることを期待する。



県展審査風景



県展ギャラリートーク



県展展示風景

会員消息

(放美展・県展・デザイン部会議を除く)

■斎藤 繁次

- 2月
「第53回徳島市芸術祭美術展デザイン部門」審査員と作品出品
会場：シビックセンター3階ギャラリー
- 11月
「藍美展」出品

■斎藤志津子

- 2月
「第53回徳島市芸術祭美術展デザイン部門」特別出品
- 11月
「藍美展」出品

■坂野美恵子

- 1月
「坂野個展」(1月～12月)計3回
会場：四国大学交流プラザロビー
- 9月
「第109回二科展デザイン部門(会員)」審査員と作品出品
会場：東京国立新美術館
- 9月
「第5回赤い羽根共同募金アイデアコンテスト」審査員
会場：ふれあい健康館
- 10月
「令和7年用緑化運動ポスター原画及び緑化標語」審査員
会場：徳島県庁
- 11月
「四国大学100周年記念式典」作品寄贈 約300点(プリントB5サイズ)
会場：クレメントホテル徳島

■佐藤あすか

- 6月10日(火)
「第5回全国公募Tシャツデザイン展」審査員
主催：徳島県障がい者芸術・文化活動支援センター
- 7月27日(日)
「新村則人氏 講演会・ワークショップ」主催
会場：アスティとくしま1F会議室
- 9月30日(火)
「令和6年度 心に虹をかけたまほうの言葉」審査員
主催：徳島県・徳島県教育委員会

- 10月26日(日)
「瀬戸内デザイングランプリ 2025」審査員
会場：徳島市徳島穴吹カレッジ本校 11F
- 12月7日(日)
「瀬戸内デザイングランプリ 2025」表彰式出席
会場：徳島市徳島穴吹カレッジ本校 11F

■沢口 功 ● 2月20日(木)～23日(日)
「第53回徳島市芸術祭美術展デザイン部門」作品出品
会場：シビックセンター 3階ギャラリー

■敷島のり子 ● 2月20日(木)～23日(日)
「第53回徳島市芸術祭美術展デザイン部門」審査員と作品出品
シビックセンター 3階ギャラリー

● 7月17日～20日(日)
「第83回 世代美術展」
シビックセンター徳島駅前アミコビル 3階

● 10月26日(日)
「瀬戸内デザイングランプリ 2025」運営委員会監事・審査員
徳島市徳島穴吹カレッジ本校 11F

● 12月7日(日)
「瀬戸内デザイングランプリ 2025」表彰式出席
徳島市徳島穴吹カレッジ本校 11F

■田中 一郎 ● 3月
「春風コンサート 2025」
チラシ、チケット、プログラムデザイン

● 9月
「ヴォーカルグループ Sole 第41回コンサート」
チラシ、チケット、プログラムデザイン

■西林 良枝 ● 2月20日(木)～23日(日)
「第53回徳島市芸術祭美術展デザイン部門」審査員と作品出品
シビックセンター 3階ギャラリー

■山野井宏宗 ● 9月3日(水)～15日(月)
「109回二科展デザイン部」会友出品
会場：東京国立新美術館

■四十宮隆志

- 6月27日（金）
「JAGDA 第42回定時総会・交流パーティー」出席
会場：東京ミッドタウン
- 7月3日（木）
「JAGDA 徳島地区会議」出席・進行
会場：沖浜 USA
- 9月13日（土）
「こども県展」審査員
会場：徳島新聞社 1F 会議室
- 12月7日（日）
「瀬戸内デザイングランプリ 2025」運営委員会監事
会場：徳島市徳島穴吹カレッジ本校 11F

徳島県美術家協会規約

昭和 23. 9. 12	規約制定	平成 4. 6. 27	規約一部改正
32. 7. 14	新規約制定	6. 6. 25	"
33. 4. 29	規約一部改正	10. 6. 27	"
42. 4. 23	"	23. 6. 4	"
46. 4. 29	"	24. 6. 9	"
47. 5. 29	"	25. 6. 1	"
49. 8. 22	"	26. 6. 1	"
52. 7. 23	"	28. 6. 4	"
56. 5. 5	"	30. 5. 26	"
58. 6. 5	"	令和 6. 5. 18	"
61. 6. 21	"		

第1章 総 則

- 第1条 本会は徳島県美術家協会と称する。
- 第2条 本会は県内美術家の連絡を緊密にし県美術の育成発展をはかり美術を通じて県文化の向上につとめることを目的とする。
- 第3条 本会は徳島県に関係のある美術家をもって組織する。会員は次のいずれかの部に属する。
- ①日本画 ②洋画 ③写真 ④立体(彫刻)
⑤美術工芸 ⑥書道 ⑦デザイン
- 第4条 本会は目的を達成するために次の事業を行う。
- (イ) 展覧会 (ロ) 講習会 (ハ) 講演会
(ニ) 観光美術の振興 (ホ) その他必要な事業

第2章 役員および会員

- 第5条 本会に次の役員をおく。
- 会 長 副会長(2名) 事務局長
理 事(若干名) 監 事(2名)
- 会長、副会長、監事は総会で選出する。理事は各部会から5名以内推せんする。役員の任期は2年として留任をさまたげない。ただし、会長、副会長、理事においての選出は、80歳を限度とする。(任期途中で誕生日を迎えた場合はその任期終了までとする)
- 会長・副会長の総会での選出方法は、各部で代議員の中から2名の選考委員を選び、予め候補を選考した後、総会で選出する。
- 第6条 本会は顧問および特別会員を次の規定によりおくことができる。
- ①会長または副会長を10年以上務めた後、理事会で認められた者を顧問とする。
- ②理事または部会長を10年以上務めた者、若しくは各部会からの推せんにより理事会で認められた者を特別会員とする。
- 第7条 会長は会務を総理する。副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。事務局長はこの会の事務業務を統括する。監事はこの会の経理を監査する。
- 第8条 総会は毎年1回以上会長の招集により開き会計会務の報告、役員の選出、規約の改廃、その他重要事項の審議を行う。
- 総会は各部から選出した代議員によって構成し、出席代議員の過半数をもって議決する。代議員は30名以内の会員の部にあっては3名、31名以上の部にあっては、さらに10名毎に1名選出できる。ただし、最終端数の人員が算出された場合は、繰り上げるものとし1名を追加する。
- 第9条 理事会及び部会長会は必要に応じ会長が

招集し総会の決議による会務および緊急事項を執行する。事務局長は必要に応じ事務局員を招集し、事務分担を行う。

第3章 部 会

- 第10条 各部に次の役員をおく。
- 部会長・委員(部会員数の3割以内とするが、部の事情によってはこの限りではない)
- 部監事(2名)
- 事務局員(2名)
- 役員は部総会で選出する。役員の任期は2年とし留任をさまたげない。ただし、部会長においての選出は80歳を限度とする。(任期途中で誕生日を迎えた場合はその任期終了までとする)
- 第11条 部総会は毎年1回以上部会長の招集により開き、会計会務の報告、役員の選出その他重要事項の審議を行う。
- ただし、部の事情により、部委員会をもって総会にかえることができるものとする。
- 第12条 委員会は必要に応じ部会長が招集し部会務を執行する。
- 第13条 部会の決定事項中、各種事業を協会の名において行うときは、理事会の承認を必要とする。
- 第14条 各部の経費は部会1人当たり、1,750円とし、その他事業収益、寄付金をもってあてる。

第4章 経 費

- 第15条 本会の経費は会費、入会金、事業収益、寄付金その他をもってあてる。
- 第16条 会費は年額3,500円とし、入会金は1,000円とする。
- 第17条 会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

内 規

- 1 (監事)
- 監事は、基本的に規約第3条の順に従って、2部会が役員の任期期間をつとめる。
- 2 (総会の議長)
- 総会の議長は、規約第3条の順に毎回持ち回りでつとめる。

(参 考)

- ☆昭和23年9月12日 設立総会及び発会式を徳島市役所3階議事場で行う。事務所を徳島新聞社内に置く。
- ☆昭和24年5月3日 事務所を憲法記念館(徳島公園内の県立図書館)内へ移す。
- ☆昭和25年12月18日 協会バッヂを選定(図案は鬼塚副会長)
- ☆昭和33年4月29日 今迄常任委員で運営していた協会の組織を部制を設けて、各部会長及び各部委員を選出する。協会運営は各部から選出された理事(3名~5名)によることとする。
- ☆昭和46年4月29日 6部(日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道)のうに商業美術(58年度からデザインに改称)が加わり7部組織となる。
- ☆平成23年6月1日 事務所を事務局長の住所に置く。

後援承認事務取扱規定

(趣 旨)

第1条 この規定は、徳島県美術家協会（以下「協会」という。）以外の団体が自主的、自発的活動として行う教育、文化及び美術等の各種行事に対して、協会が後援又は共催若しくは推奨（以下「後援等」という。）をする場合の承認事務の取り扱いについて、必要な事項を定めるものとする。

(用語の定義)

第2条 この規定においての後援とは、協会以外の団体が計画した行事に、協会が当該行事の奨励及び助長をすることをいう。

(基本的な留意事項)

第3条 協会が美術展等を承認する場合は、次の事項に留意しなければならない。

- (1) 「後援等を承認する」ということは「協会の名義使用を認める」ということであり、それだけに他に及ぼす影響等を十分考慮し、過誤のないようにすること。
- (2) 安易に後援等を承認すると、一般市民の誤解を招き協会の信用をそこなうこととなるので、慎重に取り扱うこと。

(行事の主催者)

第4条 協会が後援等を承認する場合の主催者は、次の各号の一に該当するものでなければならない。

- (1) 教育、文化など協会の7部門に関係した機関及び団体。
- (2) 国又は地方公共団体及びそれらの機関。
- (3) 教育、文化機関及び美術研究団体。
- (4) 公益法人（宗教法人を除く。）及びこれに準ずる公共的団体。
- (5) その他、協会が特に認めたもの。

(承認の基準)

第5条 協会が後援等を承認する場合の行事内容は、「教育、文化及び美術等の普及向上に寄与するもので、公益性のあるもの。」でなければならない。ただし、次の各号の一に該当するものは後援等の承認をしないものとする。

- (1) 政治的、宗教的中立性を侵すおそれのあるもの。
- (2) 特定の流派等で、協会の後援に適さないもの。
- (3) 営利又は売名（個人、団体を問わない。）の意図をもって企画されているもの。
- (4) 行事の企画、運営等が適切でないと認められるもの。

- (5) その他、協会が後援等をすることを不適当と認めるもの。

(後援等の申請)

第6条 行事の主催者は、協会に後援等の承認を得ようとするときは、徳島県美術家協会後援名義使用承認申請書（様式第1号）を原則として30日前までに提出しなければならない。

- 2 前項の申請書には、行事計画及び行事内容の記載を必要とする。また、その内容によっては、協会が必要書類の提出を求めることがある。

(承認決定の通知)

第7条 協会は、後援等を承認決定したときは、徳島県美術家協会後援名義使用承認通知書（様式第2号）により申請者（主催者）に通知するものとする。

(後援等の取消し)

第8条 協会は、後援等を承認決定した後ににおいて、当該行事が次の各号の一に該当したときは、後援等を取り消すものとする。

- (1) この規定の第5条の規定に接触することとなったとき。
- (2) 後援等申請書が虚偽の申請であったとき。
- (3) 承認決定の条件に違反し、協会の指示に従わなかったとき。

附 則

- 1 この規定は、平成24年6月9日から施行する。

徳島県美術家協会後援名義使用承認申請書

年 月 日

徳島県美術家協会会長 様

申請者（主催者）

住 所

団 体 名

代表者名 印

電話番号 - -

次の行事について徳島県美術家協会の後援名義使用承諾を得たいので関係書類を添えて申請します。

新規 ・ 継続（該当に○印をつけてください）

行 事 名	
開催日時（期間）	年 月 日（ ）～ 年 月 日（ ）
開 催 場 所 名	
開催場所所在地	
共 催 団 体 名	
他の後援団体名	
入 場 料	有（詳細を記入： ） ・ 無
後援承認通知書 送付先住所氏名	〒 氏名
行 事 概 要 （行事計画及び行事内容などを記載してください）	

注 1） 共催団体名、他の後援団体名は予定のものも含めて記載してください

様式第 1 号

※コピーしてご利用ください

あ と が き

2025 年の美術界は、都市から地方へと表現の場が広がり、地域に根ざした活動が力を増した一年であったように思います。

徳島や四国でも、自然や工芸を背景にした新しいスペースや滞在制作が芽吹き、地域とアーティストが交わる“ゆるやかな芸術圏”の可能性が広がっています。

徳島県展や放美展も、次世代や新しい表現を迎え入れながら、新たな展開を迎えていくことが期待されます。こうした活動が、若い表現者を育て、地域に創造の循環を生み出していくことでしょう。

今号の装丁は、写真部の上野照文部会長にお願いし、生が感じられる素晴らしいものとなりました。

さて、今年度より事務局をデザイン部から日本画部が引き継ぎ担当させていただいております。不慣れで至らない点もあろうかと思いますが、何卒ご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、皆様の創作が広がりをみせ、徳島県の美術界がより輝いてゆくことを心より願っています。

令和8年3月

徳島県美術家協会

事務局長 岡 英彦

美術年報 2026

令和8年3月30日 印刷

令和8年3月31日 発行

編集者 岡 英 彦

装幀者 上 野 照 文

発行人 松 永 勉

印 刷 星印刷株式会社

発行所 徳島県美術家協会

徳島市住吉4丁目5-56 岡方
